学生募集要項

令和９年度・一般選抜用

明るい未来を切り開く

名古屋市立大学

目　　次

教育に関する目標とアドミッション・ポリシー（入学者受入方針） ―――――――― 2
医学部保健医療学科看護学専攻の名古屋校・蒲郡校について ―――――――― 12
人文社会学部からのお知らせ ―――――――― 12
第１　募集人員 ―――――――― 13
第２　出願資格 ―――――――― 14
第３　障害等を有する入学志願者との事前相談 ―――――――― 15
第４　出願手続 ―――――――― 16
第５　不合格の扱い ―――――――― 19
第６　試験場 ―――――――― 19
第７　試験期日 ―――――――― 20
第８　合格発表・入学許可書 ―――――――― 20
第９　入学手続 ―――――――― 21
第10　入学初年度納付金額 ―――――――― 21
第11　追加合格 ―――――――― 22
第12　簡易成績開示 ―――――――― 23
第13　試験場の下見 ―――――――― 24
第14　試験当日の注意事項 ―――――――― 24
第15　入学者選抜方法等
前期日程（医学部・経済学部・人文社会学部・芸術工学部・理学部・データサイエンス学部） 25
後期日程（経済学部・人文社会学部・芸術工学部・理学部） ―――――――― 45
公立大学中期日程（薬学部） ―――――――― 56
第16　試験場及び学生課案内 ―――――――― 59
出願状況速報・追加合格の実施状況 ―――――――― 61

緊急時における大学からのお知らせについて

本募集要項の内容を変更する必要が生じた場合や、災害の発生時などの緊急時の連絡は、本学ウェブサイトにより周知しますので、受験前は特に注意してください。

〇本学ウェブサイト　　https://www.nagoya-cu.ac.jp/

教育に関する目標とアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

名古屋市立大学

《教育に関する目標》

教育は、学部・大学院を問わず、大学が社会や学生・大学院生に対して果たす最優先の責務であり、その強化に取り組む。そして、あらゆる機会を通じて幅広い視野と教養、「共生」の精神、豊かな創造性を身につけた人材を育成する。また、高度な知識と技術を身につけ、目的意識と主体性を持って、地域社会及び国際社会に貢献することができる人材を育成する。

《アドミッション・ポリシー》

名古屋市立大学では、各学部がその理念と目的に応じて、入学者選抜試験における教科・科目を設定しており、明確な目的意識と勉学への強い意欲を持ち、大学の教育に関する目的を理解し、次のような資質を有する多様な学生を求めます。

●十分な基礎学力とそれに裏打ちされた知識・技能
●自ら課題を発見・解決し、それを伝える思考力・判断力・表現力
●主体性を持ち、幅広い視野で多様な人々と協働して学ぶ態度
●豊かな人間性と、地域や社会で活躍できる適性

医学部医学科

《理念と目的》

●人間味にあふれ、深い医学知識と技術を備えた医師を育成すること。
●国際的な視点から未来に貢献する医学研究を行い、その成果を社会に還元すること。
●名古屋都市圏の中核医育機関として、地域住民の健康と福祉増進に貢献できる医師を育成すること。

《アドミッション・ポリシー》

求める学生像

医学・医療への使命感と倫理観、幅広い知識と向学心をもち、他の医療従事者と協調してリーダーシップを発揮し、患者中心の医療ができる国際的視野をもった学生を求めます。

●医学・医療への使命感と倫理観をもった人
●幅広い科目の学力と向学心を備えている人
●温かで信頼され、協調性をもってリーダーシップを発揮できる人
●国際的な視野をもち、医学・医療の発展に気概ある人

修得しておくべき知識等の内容・水準

●基礎医学を学習する上での基盤となる理科、数学、語学の基礎学力
●文章の読解、考えの口頭および文章での表現、円滑なコミュニケーションのための十分な国語力と英語力
●人間理解の基盤となる社会、経済、文化、芸術、思想など多様な領域に対する向学心と素養
●自ら学習課題を見出し解決できる意欲と行動力

選抜方法
　教科・科目に係る個別テスト及び面接を課し、試験科目毎に設定した合格基準をすべて満たした者の中から、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合して入学者の選抜を行う。

医学部保健医療学科看護学専攻

《理念と目的》

教育理念
　人間の尊厳を理解し、看護を通じて保健・医療・福祉に貢献できる人材を育成する。

教育目標
●幅広い教養を育み豊かな人間性を養う。
●科学的根拠に基づいて判断できる力と社会の変化に対応できる実践力を養う。
●保健医療サービスを受ける人々や提供する側の諸職者との協力的関係を調整する力を養う。
●地域的問題から国際的問題まで幅広い視野を持って人々の健康を考える力を養う。

《アドミッション・ポリシー》

　看護学は、人々の健康を生活の側面より支えることを学ぶ学問です。看護学専攻では、次のような人を求め、入学を歓迎します。

求める学生像
●看護学に興味があり、将来、看護に関する仕事を通して社会に貢献したいと考える人
●地域における保健・医療・福祉の課題解決に対して意欲的に学ぶ姿勢をもっている人
●人に対する温かい態度と物事を客観的に捉え判断することのできる冷静さを併せ持っている人
●人とのかかわりをいとわず、様々な背景をもつ多様な価値観や信念、文化を尊重し、他者への思いやりをもって協働しようとする人
●理系および文系科目を幅広く履修し、多様な側面をもつ看護学を修得するための十分な基礎学力を身につけている人

修得しておくべき知識等の内容・水準
●理系および文系科目の幅広い知識と、看護学を修得するための十分な基礎学力
　看護学は、医学や薬学をはじめとする自然科学系の学問や、人との関係や家族や社会との関わり、様々な制度など、人文科学や社会科学に関する内容を専門基礎としての位置づけで学習します。そのため、入学には、高等学校卒業までに修得すべき基礎学力を偏りなく、幅広く身につけておくことが必要です。
●他者と良好な関係を築くためのコミュニケーション能力
　看護の対象は様々な年代や健康状態にあり、自分とは異なる多様な背景を持つ人です。他者と良好な関係を築くためには、相手の考えや気持ちを理解することに加え、自分の考えを言語化しそれを適切に伝えられることが必要です。そのため、国語および英語などによる基本的なコミュニケーション能力を身につけておくことが求められます。

選抜方法
　大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストで、看護学や保健・医療・福祉の知識を習得するに足る基礎学力とそれを活用した思考力、判断力等を確認します。

医学部保健医療学科リハビリテーション学専攻

《理念と目的》

リハビリテーションは、病気や怪我により身体および認知機能が低下した方に対し、「その人らしく生きる権利の回復」および「自分らしく生きることの獲得」を支援します。リハビリテーション学専攻は理学療法学コースと作業療法学コースから構成され、次のような学生を求め、入学を歓迎します。

求める学生像

●地域の健康と医療の発展に貢献するという強い使命感と倫理観を持った人
●リハビリテーションを科学的に探究する高い学修意欲を有している人
●医療に携わる様々な職種と協働し、患者中心の医療を提供するためのリーダーシップを発揮する意欲のある人
●幅広い知識と教養を身につけている人

修得しておくべき知識等の内容・水準

●医学から自然科学、言語、法律等幅広い分野を学修するための文理の別のない基礎学力が必要です。
●医療の現場において患者および家族の気持ちを理解し、円滑な人間関係を築くためのコミュニケーション能力が求められます。
●課題を設定し、それを自ら解決するための積極的な行動力が求められます。

《理学療法学コース　アドミッション・ポリシー》

求める学生像

●理学療法に興味があり、地域社会や国際社会に貢献する意欲のある人
●人の尊厳を尊重し、人や社会、文化の多様性を認め、他者と良好な関係を築くことができる人
●知的探究心と柔軟な思考力をもち、問題解決に向けて継続的に取り組むことができる人
●主体的に他者と連携し、リーダーシップを発揮する意欲のある人

修得しておくべき知識等の内容・水準

●論理的思考力と客観的判断力を備え、専門知識・技術・態度を学修していくため、文理の別のない幅広い基礎学力が必要です。
●自己研鑽を継続していくため、粘り強く物事に取り組むことができる力が求められます。
●医療専門職として多職種で患者および家族を支援していくため、他者との連携が必要な課題に誠実に取り組む協調性と行動力が求められます。
●患者および家族と信頼関係を築くため、他者を理解する意欲と倫理観を備えたコミュニケーション能力が求められます。

選抜方法

大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストで、医学や保健・医療・福祉の知識を修得するに足る基礎学力とそれを活用した思考力、判断力等を確認します。

《作業療法学コース　アドミッション・ポリシー》

求める学生像

●作業療法に興味があり、地域社会や国際社会に貢献する意欲のある人

●人の尊厳を尊重し、人や社会、文化の多様性を認め、他者と良好な関係を築くことができる人
●知的探究心と柔軟な思考力をもち、問題解決に向けて継続的に取り組むことができる人
●主体的に他者と連携し、リーダーシップを発揮する意欲のある人

修得しておくべき知識等の内容・水準
●論理的思考力と客観的判断力を備え、専門知識・技術・態度を学修していくため、文理の別のない幅広い基礎学力が必要です。
●自己研鑽を継続していくため、粘り強く物事に取り組むことができる力が求められます。
●医療専門職として多職種で患者および家族を支援していくため、他者との連携が必要な課題に誠実に取り組む協調性と行動力が求められます。
●患者および家族と信頼関係を築くため、他者を理解する意欲と倫理観を備えたコミュニケーション能力が求められます。

選抜方法
大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストで、医学や保健・医療・福祉の知識を修得するに足る基礎学力とそれを活用した思考力、判断力等を確認します。

薬学部

《理念と目的》
薬学は、様々な基礎科学を薬に関して総合し、医療への応用を目指す学問です。医療に不可欠な学問である薬学を志す人は、薬を通じて人類の健康と福祉の発展に貢献することが求められています。これを踏まえ、薬学部では生命薬科学科と薬学科を設置し、薬の創製・生産・臨床応用・適正管理・適正使用のための基礎知識と創造力・研究能力を有し、世界に羽ばたける多彩な薬のスペシャリストを社会に送り出すことを目指しています。

《アドミッション・ポリシー》
求める学生像
●薬学への強い意欲と探究心を持った人
科学としての薬学に強い学習意欲と探究心を有している人を求めます。
●医療・薬学への使命感と倫理観を持った人
薬のスペシャリストとして医療現場での薬剤師活動、医薬品の研究開発、行政などを通じて、人類の健康と福祉の発展に貢献するという使命感と倫理観を持てる人を求めます。
●科学を中心とする幅広い学力を有する人
薬学は自然科学の応用分野で、理科系の学力を重視します。しかし、薬剤師や薬学分野の研究者・技術者には、社会科学や人文社会学をも含む幅広い学問知識と教養が必要です。そのため、文科系科目に関しても基礎的な知識を有する人を求めます。
●国際的な視野とコミュニケーション能力を持てる人
医薬品研究開発や医療人としての活動において、国際的なレベルでの連携が不可欠な時代となっています。将来、国際的な視野で考え、コミュニケーションを円滑に取り、行動できる能力の獲得を目指し、そのための努力を継続できる人を求めます。
●生命科学としての薬学への向学心を有する人（生命薬科学科）
将来、基礎薬学研究や医薬品開発等を通じて、科学者として人類の健康と福祉の発展に貢献しようという情熱を有する人を求めます。
●医療人としての自覚を持てる人（薬学科）

将来、薬剤師として患者さんを思いやり、医療に携わる様々な職種の人々と協調して、患者さんのための医療に貢献しようという意欲のある人を求めます。

●大学院への進学意欲を持つ人

卒業後は大学院に進学して創薬・生命科学、臨床薬学の進歩に貢献しようとする強い意欲を持った人を求めます。

修得しておくべき知識等の内容・水準

薬学部では、両学科とも広範で多様な学問分野を総合的に学習する。また、どのような分野で活躍するにしても、語学力（国語、英語）が必要とされる。したがって、薬学部での学修を実り多いものとするために、入学までに、化学、物理学、生物学、数学、語学の基礎学力をつけておくことが必要である。さらに、部活やボランティアなど、様々な活動に積極的に取り組むことで、表現力やコミュニケーション能力のほか、幅広い視野と高い倫理観、そして豊かな人間性を育むことが望ましい。

選抜方法

志望する学科で必要な幅広い知識、思考力、学習意欲、探究心、倫理観を有する学生を、以下の方法により選抜する。

高等学校卒業程度の基礎学力を身につけ、特に数学、化学、英語について高い水準の学力がある学生を選抜する。

大学入学共通テストでは、６教科８科目の幅広い基礎学力をはかる。

教科・科目に係る個別テストでは、数学、化学、英語を課し、理解力や応用力などを評価する。

経済学部

《理念と目的》

経済学部の基本的な目的は、広い教養を持ち、経済学と経営学の諸理論に精通し、各自が直面するであろう経済、経営上の諸問題に柔軟かつ的確に対応できるような人材を社会に送りだすことです。

《アドミッション・ポリシー》

求める学生像

本学部の教育理念と目的にしたがって、次のような意欲と能力に満ちた学生が入学することを期待し歓迎します。

●経済・経営分野に強い関心を持っている人

●社会課題の克服に向け挑戦する意思を持っている人

●国際的分野について十分な理解力を持っている人

●豊かな教養の形成を目指す人

修得しておくべき知識等の内容・水準

●国内外の状況を知ったり、専門の文献を読んだりするための語学力

●論理的な分析をするための基礎となる数学の知識

●人間の行動を理解するための幅広い知識

入学者選抜の方針

経済・経営分野の土台となる基礎学力を確認するために大学入学共通テストを課しています。教科・科目に係る個別テストでは、経済・経営の学習に十分対応できる知識とそれを利活用した思考力、判断力、表現力を確認します。これら両試験を通じて、本学部のディプロマ・ポリシー、カ

リキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、受け入れる学生に求める学習成果を確認します。

人文社会学部

《理念と目的》

●人類の豊かな未来を求めて人文科学・社会科学の諸分野について学び、今日の人間、社会、文化に関わる課題について研究して、それを社会に役立てる人材
●現代の地域社会や国際社会が直面する複雑な諸問題を多面的に考察し、実践的に解決していく知を身につけた人材
●少人数教育の演習・論文指導によって、発表・討論能力や構想力・文章表現力を身につけた人材

《アドミッション・ポリシー》

人文社会学部では次のような学生の入学を期待している。
求める学生像
●人間・社会・文化に関わる諸問題に関心をもち、持続可能な社会の形成に向けて、学際的な知識と柔軟な発想力をもって積極的に取り組む人
●日常、当たり前に思っている習慣や規範、考え方を客観的に捉え直し、国内外における現代的課題に対して、根本的にかつ多角的にアプローチできる人
●学ぶ意欲があり、さまざまな人との出会いや新たな経験に主体的である人

修得しておくべき知識等の内容・水準
●国語・英語・数学において十分な基礎学力を有すること
●自分の考えを筋道立てて説明できる論理的な思考力や言語表現力を持ち、他者の声に傾聴するなど十分なコミュニケーション能力を備えていること

選抜方法
　高等学校等で学習する全ての教科が人文社会学部教育の土台になるため、いずれの入試においても、調査書の評定、または、大学入学共通テスト等で、高等学校教育段階においてめざす基礎学力を確認します。

《心理教育学科教育学コース アドミッション・ポリシー》

求める学生像
●人間について、その発達や個性、保育・教育環境に関心をもち、教育学を基礎として学び、生涯発達ならびに子育て／育ちの支援に貢献しようという意欲のある人
●教育学にとどまらず、他分野の知識も生かして、人間の多様なあり方について総合的に捉え、子どもの発達に関わる現代的諸課題の緩和または解決に向けて積極的かつ主体的に取り組もうとする人

修得しておくべき知識等の内容・水準
●文章を読み、考えを口頭や文章で表現するため、円滑なコミュニケーションをするために、日本語の十分な能力、英語の基本的運用能力を身につけていること
●教育学や社会科学において、諸現象の数理的解析のために必要な、数学の基本的な内容と応用力を身につけていること
●現代的な諸課題の背景を読み解くために求められる社会科、理科などの基本的な知識を有していること

選抜方法
　教育学の知識を修得するに足る基礎学力を大学入学共通テストで確認します。前期日程の教科・科目に係る個別テストでは英語と国語の試験により、後期日程では小論文試験により、教育学分野の学修に特に必要とされる基礎学力と、それを活用した思考力、判断力及び表現力などの資質を身につけているかを確認します。

《心理教育学科心理学コース アドミッション・ポリシー》

求める学生像
●人間について、そのこころや個性、多様な環境に関心をもち、心理学を基礎として学び、心理学領域の研究ならびに心理学を用いた支援に貢献しようという意欲のある人
●心理学にとどまらず、他分野の知識も生かして、人間の多様なあり方について総合的に捉え、子どもの発達に関わる現代的諸課題の緩和または解決に向けて積極的かつ主体的に取り組もうとする人

修得しておくべき知識等の内容・水準
●文章を読み、考えを口頭や文章で表現するため、円滑なコミュニケーションをするために、日本語の十分な能力、英語の基本的運用能力を身につけていること
●心理学や社会科学において、諸現象の数理的解析のために必要な、数学の基本的な内容と応用力を身につけていること
●現代的な諸課題の背景を読み解くために求められる社会科、理科などの基本的な知識を有していること

選抜方法
　心理学の知識を修得するに足る基礎学力を大学入学共通テストで確認します。前期日程の教科・科目に係る個別テストでは英語と国語の試験により、後期日程では小論文試験により、教育学分野の学修に特に必要とされる基礎学力と、それを活用した思考力、判断力及び表現力などの資質を身につけているかを確認します。

《現代社会学科 アドミッション・ポリシー》

求める学生像
●現代社会が直面する諸問題とりわけ身近な都市圏・地域社会に深い関心を持ち、持続可能な社会の形成に向けて解決のために努力する人
●現代社会の諸問題について、自らどのような問題であるか考え、探究し、社会科学の諸分野を幅広く深く学び、社会調査などの基本的スキルを身につける意欲のある人
●大学での社会科学学修のために必要な基礎知識を十分に習得し、勉学意欲を持ち、知的好奇心や柔軟な発想力を持つ人

修得しておくべき知識等の内容・水準
●高校卒業程度の国語・数学・英語・社会科（地理歴史、公民）・理科の知識を十分有していること
●大学での学修に必要な課題発見力、論理的思考、討論発表能力、文章表現力を有していること

選抜方法
　社会学領域・政策領域・社会福祉学領域の知識を修得するに足る基礎学力を大学入学共通テストで確認します。前期日程の教科・科目に係る個別テストでは、英語と国語の試験により、社会学領域・政策領域・社会福祉学領域の学修に特に必要とされる基礎学力と、それを活用した思考力、判断力及び表現力を身につけているかを確認します。後期日程の小論文の試験では、社会学領域・政

策領域・社会福祉学領域の学修に特に必要とされる基礎学力と、それを活用した思考力、判断力及び表現力を身につけているかを確認します。

《国際文化学科 アドミッション・ポリシー》

求める学生像

●本学科における学びの準備として、文化的な創作・鑑賞活動の大切さやグローバルかつローカルな視座に基づく文化理解の重要性が理解できる人
●人文科学・社会科学分野の幅広い教養を身につけ、グローバルかつローカルな視点から自文化と他文化の相互関係を理解しようとする意欲のある人
●英語など外国語の実践的な言語コミュニケーション能力を身につけることで、異文化間の交流を促進し、国際平和に必要不可欠な多文化共生社会を実現する主体になることに意欲のある人

修得しておくべき知識等の内容・水準

●高校卒業程度の国語・数学・英語・社会科（地理歴史、公民）・理科の知識を有していること
●文章を読み、自分の考えを論理的に表現することができる、外国語の基本的運用能力ならびに日本語の十分な能力を身につけていること

選抜方法

国際文化学科の学修に十分対応できる知識を修得するに足る基礎学力を大学入学共通テストで確認します。前期日程の教科・科目に係る個別テストでは人文科学・社会科学分野の学修に特に必要とされる英語と国語の試験により基礎学力と、それを活用した思考力、判断力及び表現力を身につけているかを確認します。後期日程の小論文試験では、基礎学力、判断力及び表現力を身につけているか確認します。

芸術工学部

《理念と目的》

●デザイン、芸術と工学分野の幅広い知識と理論を学ぶことにより、環境の持続可能性、健康福祉など、社会的要請の強いテーマに対する問題解決能力を養います。
●デザインと工学分野の専門的知識、理論、技法を学ぶことにより、形態と機能のバランスを保ったデザイン力を養います。
●デザインの実践教育の場として、少人数学習によるデザイン実習を重視しています。
●外国人教師による講義やワークショップ等での実習指導により、国際的に活躍できる人材を養成します。

《アドミッション・ポリシー》

求める学生像

芸術工学への知的関心と探究心に加え、倫理観と幅広い基礎知識をもち、工学およびデザインの分野においてデザイナーや設計者、技術者等として、国内外の芸術工学の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。

●芸術工学への強い関心とデザインへの興味を持つ人
●継続的な努力ができる人
●自分を律し、責任感と倫理観を備える人
●人間性豊かな感性と探究心を持つ人
●大学院への進学意欲を持ち、芸術工学分野の発展に寄与する意欲のある人
●多様な社会や異文化に興味を持つ人

●主体性をもって多様な人々と協働して学べる人

修得しておくべき知識等の内容・水準
●芸術工学を修得する上での基盤となる、数学・理科の基礎学力
●文章の読解、考えの文章表現、円滑なコミュニケーションのための国語力と英語力
●芸術工学および人間理解の基盤となる社会・文化・芸術・思想など多様な領域の基礎的素養

選抜方法
【前期日程】
大学入学共通テストを課し、芸術工学を学ぶ上で必要な基礎学力を評価する。教科・科目に係る個別テスト等では数学、外国語（英語）および実技を課し、思考力・応用力に加え語学力、知識・関心等、基礎的描写力を評価する。
【後期日程】
大学入学共通テストを課し、芸術工学を学ぶ上で必要な基礎学力を評価する。教科・科目に係る個別テスト等では小論文か実技のいずれかを課し、論理的記述力や基礎的描写力を評価する。

理学部

《理念・目的》
人材養成に関する目的
●自然科学全般と数理情報科学の基礎を身に付けた上で専門分野を学修することで、柔軟な思考ができる人材を養成する。
●理学の総合的な学修を通じて、情報収集力、論理的思考力、企画力、実行力を備え、イノベーションの創出に貢献する人材を養成する。
●グローバルな視野を持ち、地域社会の発展に貢献する人材を養成する。

《アドミッション・ポリシー》
求める学生像
●生命科学、物質科学、数理情報科学のいずれか、又は複数に関心があり、好奇心を持って自ら学ぼうとする意志のある人
●理学を学ぶための基礎学力と語学力（国語力・英語力）を修得している人
●現象を観察し、そこに様々な疑問を持ち、その解決に強い興味を持つ人
●論理的な思考能力で適切に判断し、結論を導ける人
●主体的に行動し、協調性や高い倫理観を持って諸問題に対処できる人
●自らの考えを適切に他人に伝え、互いの考えを深められるコミュニケーション力を持つ人

修得しておくべき知識等の内容・水準
●高等学校等で学ぶ理系科目及び文系科目の高い学力を有すること
●理系科目の学修に必要な数学的素養を身につけていること
●高等学校等で学ぶ語学（国語及び英語）に関する知識及び能力を有すること
●論理的な思考能力を有すること

選抜方法
大学における学修に必要な基礎学力を大学入学共通テストで確認します。教科・科目に係る個別テストでは理学分野の学修に特に必要とされる理科と数学について、基本知識と論理的な思考力を身につけているか確かめます。

データサイエンス学部

《理念・目的》

データサイエンスは、統計学や AI などの情報工学を横断的に活用し、社会の様々な分野に存在する多様で膨大なデータから有益かつ新たな知見を引き出すことを通じて、各分野における課題にアプローチする分野横断型の学問です。データサイエンス学部では、そのような知識と技術にもとづいて社会と地域における諸課題の解決に取り組み、社会の発展に貢献できる実践的な能力を有する人材を養成することを目的としています。

《アドミッション・ポリシー》

求める人物像

●数学、統計学、情報工学に関心を持ち、データを活用して新しい知見を見出すことに意欲を持って取り組む人
●社会における様々な現象や事象に興味・関心を持ち、そこに内在する疑問や課題の解決に向けて、データの活用に関する理論や技術、実践事例を学びたいと考える人
●好奇心を持ち、主体的に学修に取り組もうとする意志のある人
●論理的に考え、得られた結果をもとに自らの考えをまとめようとする姿勢を有する人

修得しておくべき知識等の内容・水準

●高等学校等において学ぶ数学を中心とした数理分野の基礎学力を身につけていること
●統計学や情報工学を学ぶために必要となる基礎的な学力を有していること
●データサイエンスの専門科目や卒業研究の履修において、学術的資料を収集・理解するための基礎的な英語力を有していること
●論理的に思考し、課題に対して筋道を立てて考えることができること

選抜方法

大学における学修に必要な基礎学力を大学入学共通テストにより確認します。また、教科・科目に係る個別テスト等を通じて、データサイエンス分野の学修に必要な数学的素養、論理的思考力および英語能力を総合的に評価します。

「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学のアドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。ただし、使用するとは限りません。

本学過去問題の掲載について

本学ウェブサイトにて教科・科目に係る個別テスト過去問題・解答例を掲載しています。
https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/past-exam/test/

医学部保健医療学科看護学専攻における名古屋校・蒲郡校について

医学部保健医療学科看護学専攻では、令和９年度より名古屋校の入学定員を増員するとともに、蒲郡校を新設します。

名古屋校に在籍する学生は、入学後から卒業まで原則として名古屋市内のキャンパス（滝子キャンパス、桜山キャンパス、葵キャンパス等）に通学し、蒲郡校に在籍する学生については、１年次は名古屋市内のキャンパス（滝子キャンパス、桜山キャンパス、葵キャンパス等）に通学し、２年次以降は蒲郡キャンパスに通学します。

なお、名古屋校及び蒲郡校における教育は、同一の教育課程に基づき実施するものとし、教育内容及び教育水準の同等性を確保します。

合格した入学校（名古屋校または蒲郡校）は、入学後に変更することはできません。

人文社会学部からのお知らせ

人文社会学部においては、各種の資格・免許が取得できますが、複数の資格・免許の取得を目指す場合や、他学科・コースで開講する授業科目を履修することで取得できる資格・免許については、４年間で取得できない場合があります。受験される学科・コースを選択される際には特にご注意ください。

在籍学科 資格・免許	心理教育学科 教育学コース	心理教育学科 心理学コース	現代社会学科	国際文化学科
幼稚園教諭一種免許状、保育士資格	○	×	×	×
中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（地理歴史、公民）	△	△	○	△
中学校教諭一種免許状（英語） 高等学校教諭一種免許状（英語）	△	△	△	○
社会福祉士国家試験受験資格	△	△	○	△
社会調査士資格	×	×	○	×
認定心理士資格	×	○	×	×
公認心理師試験受験資格（※）	×	○	×	×

○:在籍する学科・コースにおいて開講する授業科目を履修することで、資格・免許が取得できます。
△:他学科・コースにおいて開講する授業科目を履修することで、資格・免許が取得できます。ただし、４年間で取得できない場合があります。
×:在籍する学科・コースでは資格・免許を取得できません。

※公認心理師試験の受験資格取得には、公認心理師法施行規則に定める所要の科目を開設する大学院において、所要の単位を修得して修了する必要があります。ただし大学院の履修については、省令で定められた施設において、実習指導者の資格を有する者による指導を受けながら２年以上の実務経験で代替することもできます。

第１　募集人員

学　　部	学　　科	募集区分	募集人員		ページ
医学部	医　学　科	地域枠学校推薦型選抜	７名	※1	別要項
		学校推薦型選抜（中部圏活躍型）	27名	※2	別要項
		学校推薦型選抜（名古屋市高大接続型）	３名	※2	別要項
		前期日程	60名		26ﾍﾟｰｼﾞ
	保健医療学科 看護学専攻 ※3	学校推薦型選抜Ａ（名古屋校）	10名		別要項
		学校推薦型選抜Ａ（蒲郡校）	10名		別要項
		学校推薦型選抜Ｂ（名古屋校）	60名	※4	別要項
		学校推薦型選抜Ｂ（名古屋市高大接続型）（名古屋校）	10名	※5	別要項
		学校推薦型選抜Ｂ（蒲郡校）	15名	※6	別要項
		前期日程（名古屋校）※7	80名		28ﾍﾟｰｼﾞ
		前期日程（蒲郡校）※7	25名		28ﾍﾟｰｼﾞ
	保健医療学科 ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学専攻 理学療法学コース	学校推薦型選抜Ａ	４名	※2	別要項
		学校推薦型選抜Ｂ	12名	※2	別要項
		学校推薦型選抜Ｂ（名古屋市高大接続型）	４名	※10	別要項
		前期日程	20名		31ﾍﾟｰｼﾞ
	保健医療学科 ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学専攻 作業療法学コース	学校推薦型選抜Ａ	４名	※2	別要項
		学校推薦型選抜Ｂ	12名	※2	別要項
		学校推薦型選抜Ｂ（名古屋市高大接続型）	４名	※10	別要項
		前期日程	20名		31ﾍﾟｰｼﾞ
薬学部	薬　学　科 （６年制） ※8	学校推薦型選抜Ａ	６名	※9	別要項
		学校推薦型選抜Ｂ	13名	※9	別要項
		学校推薦型選抜Ｂ（名古屋市高大接続型）	２名	※9	別要項
		公立大学中期日程	44名		57ﾍﾟｰｼﾞ
		私費外国人留学生	若干名		別要項
	生命薬科学科 （４年制）	学校推薦型選抜Ａ	４名	※9	別要項
		学校推薦型選抜Ｂ	６名	※9	別要項
		学校推薦型選抜Ｂ（名古屋市高大接続型）	２名	※9	別要項
		公立大学中期日程	38名		57ﾍﾟｰｼﾞ
		私費外国人留学生	若干名		別要項
経済学部	経済経営学科	学校推薦型選抜Ａ	10名		別要項
		学校推薦型選抜Ｂ	40名		別要項
		学校推薦型選抜Ｂ（名古屋市高大接続型）	５名	※10	別要項
		前期日程	140名		33ﾍﾟｰｼﾞ
		後期日程	70名	※11	46ﾍﾟｰｼﾞ
		私費外国人留学生	若干名		別要項
人文社会学部 ※12	心理教育学科 教育学コース	学校推薦型選抜Ａ	５名		別要項
		学校推薦型選抜Ｂ	８名	※2	別要項
		学校推薦型選抜Ｂ（名古屋市高大接続型）	２名	※10	別要項
		前期日程	22名		35ﾍﾟｰｼﾞ
		後期日程	７名		48ﾍﾟｰｼﾞ
		帰国生徒・外国学校出身者	若干名		別要項
		私費外国人留学生	若干名		別要項
	心理教育学科 心理学コース	学校推薦型選抜Ｂ	12名	※2	別要項
		学校推薦型選抜Ｂ（名古屋市高大接続型）	３名	※10	別要項
		前期日程	20名		35ﾍﾟｰｼﾞ
		後期日程	５名		48ﾍﾟｰｼﾞ
		帰国生徒・外国学校出身者	若干名		別要項
		私費外国人留学生	若干名		別要項
	現代社会学科	学校推薦型選抜Ａ	10名		別要項
		学校推薦型選抜（名古屋市高大接続型）	３名	※2	別要項
		前期日程	49名		36ﾍﾟｰｼﾞ
		後期日程	８名		49ﾍﾟｰｼﾞ
		帰国生徒・外国学校出身者	若干名		別要項
		私費外国人留学生	若干名		別要項
	国際文化学科	学校推薦型選抜Ａ	６名		別要項
		学校推薦型選抜（名古屋市高大接続型）	３名	※2	別要項
		前期日程	45名		36ﾍﾟｰｼﾞ
		後期日程	12名		49ﾍﾟｰｼﾞ
		帰国生徒・外国学校出身者	２名	※2	別要項
		私費外国人留学生	３名	※2	別要項
芸術工学部	芸術工学科	学校推薦型選抜（連携指定校型）	若干名		別要項
		学校推薦型選抜Ｂ	12名		別要項
		学校推薦型選抜Ｂ（名古屋市高大接続型）	３名	※10	別要項
		前期日程	60名		39ﾍﾟｰｼﾞ
		後期日程	30名	※13	52ﾍﾟｰｼﾞ
		総合型選抜	若干名		別要項
理学部	理学科	学校推薦型選抜（連携指定校型）	１名	※2	別要項
		学校推薦型選抜Ｂ	３名	※2	別要項
		学校推薦型選抜Ｂ（名古屋市高大接続型）	６名	※10	別要項
		前期日程	40名		41ﾍﾟｰｼﾞ
		後期日程	40名		54ﾍﾟｰｼﾞ
		私費外国人留学生	若干名		別要項
データサイエンス学部	データサイエンス学科	学校推薦型選抜Ｂ	27名	※2	別要項
		学校推薦型選抜Ｂ（名古屋市高大接続型）	３名	※10	別要項
		前期日程	50名		43ﾍﾟｰｼﾞ
合　　計			1,267名		

※1　国が進める緊急医師確保対策に基づき、愛知県内の地域医療を担う人材を育成する目的による特別枠で７名を募集するものです。
※2　合格者が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜（前期日程）で補充します。ただし、医学部医学科の学校推薦型選抜において、名古屋市高大接続型の合格者が募集人員に満たなかった場合は、中部圏活躍型で補充します。理学部の連携指定校型の合格者が募集人員に満たなかった場合は、名古屋市高大接続型で補充し、それでも募集人員に満たない場合は通常の学校推薦型選抜Ｂで補充します。
※3　保健師養成は名古屋校・蒲郡校あわせて 30 人以内（各学年）の選択制です。
※4　合格者が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜（前期日程）名古屋校で補充します。
※5　合格者が募集人員に満たなかった場合は、通常の学校推薦型選抜Ｂ（名古屋校）で補充します。
※6　合格者が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜（前期日程）蒲郡校で補充します。
※7　出願時に入学校（名古屋校または蒲郡校）の組み合わせを選択できます。組み合わせを選択する際に必ず28ページをご覧ください。
※8　薬学科（６年制）では、卒業により薬剤師国家試験受験資格が与えられます。
※9　合格者が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜（中期日程）で補充します。ただし、名古屋市高大接続型の合格者が募集人員に満たなかった場合は、通常の学校推薦型選抜Ｂで補充します。
※10　合格者が募集人員に満たなかった場合は、通常の学校推薦型選抜Ｂで補充します。
※11　コース別に募集を行います。出願方法は、Ｅコース（英語選択）、Ｍコース（数学選択）いずれか一方を選択していただきます。募集人員はＥコース、Ｍコース各 25 名及びコースにかかわらず、大学入学共通テストの成績上位者 20 名です。
※12　受験する学科を選択する際に必ず 12 ページに掲載している「人文社会学部からのお知らせ」をご覧ください。
※13　コース（受験科目の選択）別に合格者の選抜を行います。募集人員は小論文コース（小論文を受験科目に選択した者）、実技コース（実技を受験科目に選択した者）各 15 名です。

第２ 出願資格

本学に出願することができる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和９年度大学入学共通テストで、本学が指定した教科・科目を受験した者

１　高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）を卒業した者及び令和９年３月卒業見込みの者

２　通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和９年３月修了見込みの者

３　外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和９年３月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

４　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和９年３月31日までに修了見込みの者

５　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和９年３月31日までに修了見込みの者

６　文部科学大臣の指定した者（昭和23年５月31日文部省告示第47号）　※

７　高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和９年３月31日までに合格見込みの者で、令和９年３月31日までに18歳に達するもの

８　その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和９年３月31日までに18歳に達するもの

【注】　上記、出願資格８により出願し、大学入学共通テスト出願の際、他大学の入学資格認定を受けた者で、その後本学に志望変更する者は、個別の入学資格審査が必要となるので、下記の期限までに申請すること。なお申請の手続等の詳細については本学 学生課（TEL 052-853-8020）まで問い合わせること。提出された書類は返却しません。

申請期間　　令和９年１月18日（月）～１月22日（金）

※　文部科学大臣の指定した者のうち、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEAレベル資格)又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(インターナショナルＡレベル資格)を有する者として出願する場合は、当該資格に３科目以上合格していることも必要である。

第３ 障害等を有する入学志願者との事前相談

１　事前相談の方法

障害等がある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願に先立ち、令和８年12月15日(火)までに必ず本学学生課へ電話で申し出てください。

＜留意事項＞

病気、負傷、障害等がある者等で、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願に先立ち、以下の書類の提出が必要です。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁できる出身学校関係者等との面談等を行います。

①受験事前相談・配慮措置申請書（本学所定様式。様式は本学が電話での申し出を受けた後に送付します。）

②病気、負傷、障害等に関する医師の診断書の原本、または障害者手帳等の写し等、障害の状況がわかる書類

※診断書は任意の様式とします。

※配慮内容および試験日をまたがって治療中である旨をご記入ください。

※当該年度に大学入学共通テストで受験上の配慮申請をした人は、大学入試センターへ提出した診断書の写しでも可とします。

③大学入学共通テストの「受験上の配慮事項審査結果通知書」の写し

※大学入学共通テストで受験上の配慮決定を受けた人は提出してください。

なお、座布団、クッション、タオル、ひざ掛け、手袋（多汗症用を含む）は、試験当日に監督者の許可を得たうえで試験時間中に使用できます。受験上の配慮申請をする必要はありません。

２　これまで実施した受験上の配慮の一例

・トイレまたは障害者用トイレに近い試験室での受験
・座席を最前列または最後列に指定
・補聴器の装用

３　連絡先　　本学 学生課（TEL 052-853-8020）

４　その他

受験上及び修学上の配慮を希望する場合は、試験実施に向けた準備、調整を行う必要があるため、所定の期限までに申請してください。

期限後の申請については、試験実施体制や会場、機器等の準備状況により、対応できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

第４ 出願手続

インターネット出願システムで出願情報の登録及び入学検定料の支払いを行った後に、出願期間内に出願書類を郵送により本学に提出してください。（出願期間内に本学へ書類が到着しない場合は、受験できませんのでご注意ください。）

※大学入学共通テストの成績請求手続きについて、本学は Web 方式を採用します。

本学ウェブサイト＞入試情報＞学部入試情報＞インターネット出願について
https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/undergraduate/internet/

【インターネット出願システムを利用した出願の流れ】

①出願情報の登録	インターネット出願システムへの登録期間にパソコンやスマートフォンから、本学のインターネット出願システムにアクセスし、画面の指示に従って出願情報を登録してください。 **※大学入学共通テスト出願サイトのユーザーID（メールアドレス）・パスワード、大学入学共通テスト申込番号を入力してください。**
②出願情報の確認	**入学検定料の支払い前に**登録した内容に誤りがないか必ず確認してください。入学志願票（確認用）を印刷して確認することもできます。
③入学検定料の支払い	検定料の支払い方法を選択し、入学検定料17,000円+支払手数料を支払ってください。支払い方法は以下のいずれかです。 ・クレジットカード　・コンビニエンスストア ・ネットバンキング　・ペイジー対応銀行ATM
④入学志願票等の印刷	入学志願票（提出用）、電算入力票及び宛名ラベルを印刷してください。
⑤出願書類の提出	「３　出願に必要な書類等」に記載されている書類を本学学生課へ書留速達郵便で送付してください。

※出願情報の登録だけでは出願手続きは完了しません。**下記出願期間内**に「３　出願に必要な書類等」に記載されている**書類を郵送で提出することで完了**します。

１　出願期間

令和９年１月25日(月)から令和９年２月３日(水) 16:00〔**必着**〕

※　**書留速達郵便で送付すること。消印有効ではありませんので、郵便事情を考慮して早めに送付してください。**ただし、２月１日(月)以前の発信局(日本国内)消印がある書留速達郵便に限り、期間後に到着した場合でも受理します。
　なお、出願期間最終日（２月３日（水））のみ、郵送による出願ができない事由がある場合に限り、持参による出願書類の提出を認めます。この場合、必ず、同日の9:00から15:00の間に学生課（052-853-8020）に予め連絡した上で、16:00までに本要項に記載してある出願書類の郵送先へ持参により提出してください。

※　インターネット出願システムへの登録期間は、令和９年１月22日(金) 10:00から令和９年２月３日(水) 16:00までです。

２　出願書類の郵送先

〒467-8601　名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄１番地 桜山キャンパス
　　名古屋市立大学 学生課

３　出願に必要な書類等

書　類　等		説　　明
インターネット出願システムから印刷する書類	①入学志願票（提出用）	・顔写真データのアップロード及び入学検定料の支払いが完了した後、インターネット出願システムから、白色のA4用紙に印刷してください。(印刷はカラー、モノクロのどちらでも可) ・顔写真データは上半身、無帽、正面向き、背景なし、カラー、出願前３か月以内に撮影したものをアップロードしてください。 ・入力上の留意事項については18ページを参照
	②電算入力票	
	③宛名ラベル（出願封筒用）	・顔写真データのアップロード及び入学検定料の支払いが完了した後、インターネット出願システムから、白色のA4用紙に印刷したものを市販の角型２号封筒（各自でご用意ください）に貼り付け、出願に必要な書類を封入してください。 ・１つの封筒には１名分のみとし、２名分以上封入してはいけません。 ・１つの封筒には１つの日程分の書類だけ封入してください。
その他必要な書類	④調査書 ※旧姓（名）の調査書や証明書を使用する場合は、戸籍抄本等、姓（名）の変更が確認できる書類を合わせて提出してください。	・学校長が証明し、密封したもの ・文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者、大学入学資格検定合格者及び高等学校卒業程度認定試験合格者については、当該試験等の合格成績証明書（免除科目のある場合は高等学校の調査書又は成績証明書も必要です。）を添付してください。 ・指導要録等の保存期間の終了、廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書及び単位取得証明書でかえることができます。また、同事情により上記証明書が発行できない場合は、「学校長からの発行できない旨が記載された書類」又は「卒業証書の写し」でかえることができます。 ・14ページの出願資格３、４又は６により出願する者の調査書に代わる提出書類については、本学 学生課（TEL 052-853-8020）まで問い合わせてください。

４　入学検定料の返還

(1)　第１段階選抜の不合格者、大学入学共通テスト受験科目の不足による出願無資格者等に対しては、13,000円を返還します。該当者には、第１段階選抜結果通知又は出願無資格通知の際に本学所定の書類によりお知らせします。

(2)　上記(1)の場合以外は原則として既納の入学検定料は返還しません。ただし、以下の場合は、納入された入学検定料を返還します。
詳細は本学ウェブサイト（https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/fee/refund/）をご覧ください。
・二重で支払いをした場合
・入学検定料等の支払い後、出願書類を提出しなかった場合(出願が受理されなかった場合も含む)

５　受験票のダウンロード及び印刷

第１段階選抜の合格者及び第１段階選抜を実施しなかった学部の志願者は、令和９年２月10日（水）10：00から、インターネット出願システムより受験票のダウンロード及び印刷が可能となります。各自で印刷の上、試験当日持参してください。

なお、第１段階選抜の不合格者及び大学入学共通テスト受験科目の不足による出願無資格者等はダウンロード及び印刷ができませんので、ご留意ください（第１段階選抜の不合格者及び大学入学共通テスト受験科目の不足による出願無資格者等は、受験票のダウンロード画面に「１次不合格」と表示されます）。

６　医学部医学科第１段階選抜判定通知書の送付

第１段階選抜の不合格者に第１段階選抜判定通知書と入学検定料の返還に関わる本学所定の書類を郵送します。

発送予定日は、令和９年２月10日(水)です。

電話等による合否の問合せには一切応じません。ただし、令和９年２月16日(火)までに到達しなかった場合は、本学　学生課（TEL 052-853-8020）まで連絡してください。

７　受験案内

受験案内は本学ウェブサイトに掲載いたします。試験場案内図・試験室区分・受験者入室時刻・その他受験上の注意事項は受験案内で必ずご確認ください。

○受験案内掲載 本学ウェブサイト

https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/application-status/guide/

掲載期間：令和９年２月10日(水)　10：00から

８　出願上の注意

(1) 併願について

ア　国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く※。以下この募集要項で同じ。）の「前期日程」から１、「後期日程」から１、「公立大学中期日程」から１の合計３の学部・学科等まで出願できます。

※ 独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については、公立大学協会ウェブサイト(http://www.kodaikyo.org/) で確認してください。

イ　同じ日程グループ(「前期日程」「後期日程」「公立大学中期日程」)内での併願はできません。

ウ　本学では、「前期日程」から１、「後期日程」から１、「公立大学中期日程」から１の合計３の学部・学科等まで出願できます。（同じ学部・学科等であっても異なる日程であれば併願できますが、異なる学部・学科等であっても日程が同じであれば併願できません。）

(2) 出願しようとしている学部・学科等が指定した、大学入学共通テストの教科・科目を受験しているかどうか、出願前に十分確認してください。

(3) 提出された出願書類は返却しません。

(4) 出願書類に不備がある場合は受理しないことがあります。

(5) インターネット出願システム又は出願書類に虚偽の登録又は記載をした場合は、入学許可後であっても入学を取り消すことがあります。

(6) 出願手続後に住所等が変わったときは、速やかにメール等で本学学生課まで連絡してください。

(7) 本学では、出願書類受理証等は発行しません。書留速達郵便で出願する際は、郵便局の発行する書留郵便物受領証を必ず保管しておいてください。

９ インターネット出願システム入力上の留意事項

(1) 「居住地」欄は、名古屋市在住の方で、志願者又は配偶者若しくは１親等の親族が入学の日（４月１日）において同日の前から引き続き１年以上の期間、名古屋市内に住所を有していることを住民票により証明できる方(名古屋市住民等）は「名古屋市内居住（１年以上）」を、名古屋市内に住所を有している期間が１年未満の方は「名古屋市内居住（１年未満）」を、名古屋市外に居住の方は「名古屋市内居住ではない」を選択してください。

(2) 「住所等」の欄は、令和９年４月上旬まで確実に連絡を受けることができる連絡先を入力してください。

(3) 「メールアドレス」欄は、パソコン・携帯電話の両方を持っている場合はどちらか一方のアドレス（確実に受信できるもの）を入力してください。

(4) 「緊急連絡先」欄は、本人に連絡がとれないときに確実に連絡できる方（保護者等）を入力してください。

(5) 「履歴事項」欄は、高校卒業以後から入力してください。（卒業見込者は入力不要）

10 個人情報の取扱い

個人情報については「名古屋市個人情報保護条例」に基づいて、次のとおり取扱います。

(1) 個人情報の利用

ア インターネット出願システムに登録又は出願書類等に記載された氏名、住所その他の個人情報については、入学者選抜業務（出願登録処理、選抜実施、合格発表、入学手続等）を行うため使用します。

イ 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報を、今後の入学者選抜及び大学教育の改善のための調査研究や学術研究の資料として利用する場合があります。（調査研究の発表に際しては、個人が特定できない形で行います。）

ウ 入学者の個人情報については、教務関係（学籍管理、就学指導等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

エ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。

(2) 業者への委託

上記(1)の各業務での利用に当たっては、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、一部の業務を外部の事業者に委託することがあります。

第５ 不合格の扱い

この募集要項に定める一般選抜について、次の場合は本学の教科・科目に係る個別テストを受験してもいずれも不合格となります。

1 教科・科目に係る個別テスト等で本学が課している教科・科目、小論文、面接、実技のうち一つでも受験しないものがある場合

2 国公立大学の学校推薦型選抜又は総合型選抜に合格した場合（入学辞退を許可された場合を除く。）

3 前期日程に合格して、令和９年３月15日（月）までに入学手続を行った者は、後期日程試験又は公立大学中期日程試験を受験していても、後期日程試験又は公立大学中期日程試験の合格者とはなりません。

また、令和９年度大学入学共通テストで本学の指定した教科・科目のうち、一つでも受験しないものがある場合には、本学の教科・科目に係る個別テストを受験することができません。

なお、大学入学共通テストの外国語のうち、英語を選択する場合は、「リーディング」と「リスニング」の双方を受験することが必要です。いずれか一方を受験しなかった場合は、失格者として扱い、本学の教科・科目に係る個別テストを受験することができませんので、特にご注意ください。（ただし、リスニング免除者は除く。）

第６ 試験場

試験は全て本学 滝子キャンパス(59・60ページ、項目第16を参照)で実施する予定ですが、正式には受験案内によりお知らせします。

第７ 試験期日

前期日程	令和９年２月25日（木）	医学部・経済学部・人文社会学部・ 芸術工学部・理学部・データサイエンス学部
	令和９年２月26日（金）	医学部（医学科・保健医療学科看護学専攻）
公立大学中期日程	令和９年３月８日（月）	薬学部
後期日程	令和９年３月12日（金）	経済学部・人文社会学部・芸術工学部・理学部

第８ 合格発表・入学許可書

１ 合格発表

試験日程	前期日程	後期日程・公立大学中期日程
日　　時	令和９年３月５日(金) 10：00	令和９年３月23日(火) 10：00
方　　法	合格者の受験番号を本学ウェブサイトに掲載するとともに、合格者に入学許可書及び入学手続関係書類を送付します。 本学ウェブサイト　　https://www.nagoya-cu.ac.jp/ （電話による合否の問合せには一切応じません。また、掲示板等での掲示はありません。）	

２ 入学許可書等

合格者には、合格発表日に入学許可書及び入学手続関係書類をレターパックで送付します。

(1) 不合格者には送付しませんので、必ず本学ウェブサイトで合否を確認してください。

(2) 合格者で、これらの書類が前期日程では３月９日（火）、後期日程・公立大学中期日程では３月 26 日（金）までに届かない場合は、合格発表時に本学ウェブサイトに掲載する「合格された方で、入学許可書が届いていない方へ」の指示に従い必要な書類等を準備してください。

(3) レターパックの不着又は遅配を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は一切認めません。

第９ 入学手続

１　受付日時・場所

試験日程	前期日程	後期日程・公立大学中期日程
手続日時	令和９年３月14日（日）10:00 ～ 13:00 15日（月）10:00 ～ 13:00	令和９年３月26日（金）14:00 ～ 17:00 27日（土）10:00 ～ 13:00
場　　所	本学 **滝子キャンパス** 学生会館２階ホール	本学 **桜山キャンパス** 本部棟４階ホール
方　　法	「国公立大学入学確認票」、「本学の受験票」及び 「入学時納付金(21ページ、項目第10参照)納付証明書（Ｂ票）」を 持参してください。その他必要な書類は後日連絡します。	

２　入学手続を行わない場合の取扱い

１の受付日時に入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものとして取扱います。

３　留意事項

(1) 入学手続の際「国公立大学入学確認票」を提出していただきます。

(2) 本学の入学手続を行った者は、本学の入学を辞退して、他の国公立大学の入学手続を行うことはできません。

(3) 他の国公立大学の入学手続を行った者は、当該大学の入学を辞退して本学の入学手続を行うことはできません。

(4) 郵送での入学手続は受付しておりません。本学に来校して入学手続きを行う必要があります。

第10 入学初年度納付金額

１　学　　費

区　　分	名古屋市住民等	その他の者
入　学　料	232,000円	332,000円
授　業　料	535,800円	535,800円
計	767,800円	867,800円

注1　入学料は入学手続時に納付してください。入学手続後の入学料の返還はできません。

注2　入学料、授業料は、令和８年４月入学者の金額です。令和９年度入学者については改めてお知らせします。

注3　授業料は入学後、年２回（前期・後期）に分けて引落を実施します。

注4　名古屋市住民等とは、①入学者又は②配偶者若しくは１親等の親族が入学の日（４月１日）において同日の前から引き続き１年以上の期間、名古屋市内に住所を有していたことを住民票により証明できる者を指します。

注5　在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

2　諸団体納付金

区　　分	医学部			薬学部		経　済 学　部	人文社会 学　　部	芸術工 学　部	理学部	ﾃﾞｰﾀ ｻｲｴﾝｽ 学部
	医学科	保健医療学科 看護学専攻	保健医療学科 ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学 専攻	薬学科	生命薬科 学科					
後援会費	90,000 円	60,000 円	60,000 円	90,000 円	60,000 円	60,000 円	60,000 円	60,000 円	60,000 円	60,000 円
同窓会費	100,000円 （瑞友会）	8,000 円 （看桜会）	－	20,000 円 （薬友会）	20,000 円 （薬友会）	30,000 円 （瑞山会）	15,000 円 （瑞桜会）	20,000 円 （萱光会）	20,000 円 （瑞滝会）	－
交流会費	5,000 円	5,000 円	5,000 円	5,000 円	5,000 円	5,000 円	5,000 円	5,000 円	5,000 円	5,000 円
学友会費	11,000 円	8,000 円	8,000 円	11,000 円	8,000 円	8,000 円	8,000 円	8,000 円	8,000 円	8,000 円
経済学会費	－	－	－	－	－	6,000 円	－	－	－	－
献体団体 （財）不老会 （賛助会費）	未定 （参考） 令和8年度 50,000円	未定 （参考） 令和8年度 －	未定 （参考） 令和8年度 －	－	－	－	－	－	－	－
学生教育研究 災害障害保険料	4,800 円	3,370 円	3,370 円	4,800 円	3,300 円	3,300 円	3,300 円	3,300 円	3,300 円	3,300 円
学研災付帯 賠償責任保険料	3,000 円	2,000 円	2,000 円	2,040 円	1,360 円	－	1,360 円	1,360 円	1,360 円	1,360 円
計	213,800円	86,370 円	78,370 円	132,840 円	97,660 円	112,300 円	92,660 円	97,660 円	97,660 円	77,660 円

注1　入学手続時に入学料とあわせて納付してください。

注2　上記金額については変更する場合があります。確定額については入学手続書類送付時にお知らせします。

注3　学生教育研究災害傷害保険は、入学時に全員加入となります。本学の教育研究活動中及び通学中に生じた急激かつ偶然な外来の事故によって身体に被る傷害に対して保険金が支払われます。なお、医学部、薬学部薬学科のみ、病院等で臨床実習を行う学生を対象とした接触感染予防保険金支払特約が含まれています。

注4　学研災付帯賠償責任保険は、特定の学部のみ入学時に全員加入となります。正課（医療関連実習等）、学校行事、課外活動及びその往復において、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊した場合等により、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について保険金が支払われます。

3　入学後に必要となる主な経費について

入学以後、学部によって以下の経費が必要になります。

・全国統一の共用試験受験料
・感染予防ワクチン接種料
・リメディアル教育経費
・学外実習費等の経費

第11 追加合格

令和９年３月 27 日（土）の入学手続締切の結果、欠員が生じた場合には、合格者の追加を行うことがあります。他の国公立大学又は本学において入学手続を完了している者は、追加合格の対象となりません。令和９年３月 28 日(日)～31 日(水)の９：00 から 19：00 の間で、合格者あて電話により通知しますので、連絡がとれるようにしておいてください。

直接、本人へ入学の意思を確認します。追加合格による入学意思については、あらかじめ保護者等と十分相談しておいてください。連絡がとれない場合は、追加合格の対象になりませんので注意してください。

追加合格者の入学手続については、通知の際に指示します。指示した受付期間内に入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものとして取扱います。

また、本学の追加合格入学手続を行った者は、本学の入学を辞退して、他の国公立大学の入学手続を行うことはできません。

なお、追加合格者が確定次第、電話連絡を終了します。追加合格の実施状況については、本学ウェブサイトで確認してください（61 ページ参照）。掲示による発表は行いません。

第12 簡易成績開示

一般選抜に係る個人別成績を、合否を問わず簡易な手続により開示請求することができます。ただし、**受験者本人以外が請求を行うことはできません。**

１　範　囲

(1) 教科・科目に係る個別テスト（面接、小論文及び実技検査を含む。）の科目別得点等
(2) 大学入学共通テストの教科・科目のうち、本学が課す教科・科目別得点の素点
(3) 総合得点順位（ただし、経済学部後期日程にあってはコース別総合得点順位及び大学入学共通テスト評価順位）

２　請求方法

本学 学生課に本学の受験票（第１段階選抜不合格者は第１段階選抜判定通知書）を持参して請求してください。郵送の場合は、封筒の表面に「簡易開示請求」と朱書し、次のものを同封のうえ、簡易書留郵便にて郵送してください。

・本学の受験票（第１段階選抜不合格者は第１段階選抜判定通知書）
　※受験票を紛失した場合は、保険証・免許証等の本人確認書類の写しを同封してください。
・返信用封筒（長形３号。受験者本人の住所・氏名及び郵便番号を明記して460円分の切手を貼付したもの。）
　※複数の試験について同時に請求する場合も、返信用封筒は１枚で結構です。
　※切手の金額は本学生募集要項発行時のもの
・「名古屋市立大学入学試験に係る簡易開示請求書」に必要事項を記入したもの。なお、「名古屋市立大学入学試験に係る簡易開示請求書」は、成績開示期間中に本学ウェブサイトからダウンロードできます。

また、入学した試験日程の成績については、入学後に配布される学生証により、学内の証明書自動発行機で開示できます。

３　期　間

(1) 郵送又は窓口での開示

令和９年４月16日（金）～　令和９年５月14日（金）必着

※消印有効ではありません。

窓口受付時間　９：00　～　17：00（土、日、祝日を除く）

(2) 証明書自動発行機での開示（**本学の入学者のみ**）

成績開示期間等は、入学後、別途案内します。

第13 試験場の下見

試験場の下見は次の日時に行ってください。(**建物の中には入れません。**)

前期日程　……　令和９年２月24日（水）　14：00から16：00まで

公立大学中期日程　…　令和９年３月５日（金）　14：00から16：00まで

後期日程　……　令和９年３月11日（木）　14：00から16：00まで

第14 試験当日の注意事項

１　「**大学入学共通テストの受験票」と「本学の受験票」を持参してください。**また、本学ウェブサイトに掲載する受験案内を必ず読んでください。（18ページ項目第４**「７　受験案内」参照**）

２　試験当日は、試験開始時刻の20分前までに試験室に入室してください。

３　試験室の換気を行うため、体温調整ができる上着などの温かい服装の持参をお願いします。

４　不正又は不都合な行為のあった者には退室を命じ、全科目の成績について無効とします。

５　試験当日は、各自で昼食を持参し、教室の自席で食事をしてください。なお、清潔にこころがけ、ごみは必ず持ち帰ってください。

６　携帯電話等は試験室への受験者入室終了時刻までにアラーム等は解除した上で、電源を切っておいてください。

７　本学の受験票は、入学手続や成績開示に必要ですから大切に保管しておいてください。

８　試験場周辺又は桜山駅周辺において、各種勧誘やパンフレット類の配布等を行う者がありますが、本学とは一切関係ありません。くれぐれもご注意ください。

第15 入学者選抜方法等

前　期　日　程

医学部　----------　26ページ

経済学部　----------　33ページ

人文社会学部　---------　35ページ

芸術工学部　----------　39ページ

理学部　----------　41ページ

データサイエンス学部　--　43ページ

医学部医学科

1　選抜方法

(1) ２段階選抜を行います。

第１段階選抜	本学が指定する教科・科目における大学入学共通テストの成績（下記(2)の表による傾斜配点）で判定し、総配点600点中の概ね73%以上(注)の者を対象とし、募集人員の約３倍の合格者を決定します。 (注)大学入学共通テストの得点平均が、令和８年度大学入学共通テストの得点平均と同程度の場合です。第１段階選抜の基準については、令和９年１月21日頃に本学ウェブサイトで公表します。
第２段階選抜	第１段階選抜合格者に対して教科・科目に係る個別テスト及び面接を課し、試験科目毎に設定した最低合格ラインをすべて満たした者の中から、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。 なお、教科・科目に係る個別テストの成績の如何にかかわらず、面接試験においてアドミッション・ポリシーに記載されている医師・医学研究者としての適性・人間性を満たさなければなりません。

(2) 大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テスト等の配点は次のとおりです。

教科等 / 試験	国　語	地　理 歴　史	公　民	数　学	理　科	外国語	情　報	面 接	計	合　計
大学入学共通テスト	125	75		125	100	125	50	—	600	1,800
教科・科目に係る個別テスト等	—	—	—	300	400	300	—	200	1,200	

注１　大学入学共通テストの配点については、上記表の通りとし、「国語」及び「外国語」は各科目 125 点満点、「地理歴史，公民」は 75 点満点、「数学」は各科目 62.5 点満点、「理科」及び「情報」は各科目 50 点満点とする。

注２　大学入学共通テストの「外国語」の「英語」はリスニングを含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング 20%とする（リーディング 100 点、リスニング 25 点）。ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング 100%として算出する。

2　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

下記の６教科８科目を合否判定に用います。

教　科	科　　目
国語	「国語」
地理歴史	「地理総合／歴史総合／公共」（この中から２出題範囲選択）「歴史総合，世界史探究」「歴史総合，日本史探究」「地理総合，地理探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」から１科目選択　＊1
公民	
数学	「数学Ⅰ，数学A」
	「数学Ⅱ，数学B，数学C」
理科	「物理」
	「化学」
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から１科目選択
情報	「情報Ⅰ」

＊1　２科目を受験した場合は、第１解答科目を合否判定に用いる。

３　教科・科目に係る個別テスト等

(1) 実施期日及び時間

期　　日	時　　間	教 科 等
２月25日（木）	９：30～11：30　（120分）	外 国 語
	13：00～15：00　（120分）	数　　学
	15：50～18：20　（150分）	理　　科
２月26日（金）	9：00に所定の場所に集合し、その後順次開始します。 終了時刻は、面接の順序により異なります。 面接の順序は集合時に発表します。	面　　接

(2) 教科・科目等

教 科 等	科　　目　　等
外 国 語	英語（「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」）
数　　学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C　＊1
理　　科	「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」　＊2
面　　接	医学を志す動機・意欲、医師への適性、社会性・協調性、コミュニケーション能力などを総合的に評価します。

＊1　数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Aは全範囲を出題範囲とし、数学Bは「数列」、数学Cは「平面上の曲線と複素数平面」「ベクトル」を出題範囲とする。

＊2　「物理基礎・物理」は「物理基礎」・「物理」の、「化学基礎・化学」は「化学基礎」・「化学」の全範囲を出題範囲とする。

医学部保健医療学科看護学専攻

※ 出願する組み合わせを選択する際に、12ページに掲載している「医学部保健医療学科看護学専攻における名古屋校・蒲郡校について」を必ずご覧ください。

入学校の希望については、出願時に第一希望校・第二希望校の組み合わせを以下Ａ～Ｄから１つ選択できます。

組み合わせ	第一希望校	第二希望校
A	名古屋校	蒲郡校
B	蒲郡校	名古屋校
C	名古屋校	なし
D	蒲郡校	なし

＜組み合わせを選択する際の注意点＞
・出願後は、選択した組み合わせを変更することができません。
・第二希望校に合格した場合、その後、第一希望校に欠員が生じた場合であっても、第一希望校の追加合格の対象とはなりません。

１　選抜方法

(1) ２段階選抜は行いません。

教科・科目に係る個別テスト及び小論文・面接を課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、入学校（名古屋校あるいは蒲郡校）及び最終合格者を決定します。

入学校および最終合格者の決定は、組み合わせＡ～Ｄの志願者を併せて、判定結果が最上位の者から順に行います。第一希望校、第二希望校どちらでも合格する成績の場合は、第一希望校の合格者とします。第一希望校は合格に満たないが、第二希望校では合格となる成績である場合は、第二希望校の合格者とします。

(2) 大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テスト等の配点は次のとおりです。

教科等 ＼ 試験	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	計	合計
大学入学共通テスト	200	100		200	100	200	50	—	—	850	1,300
教科・科目に係る個別テスト等	—	—	—	—	—	150	—	150	150	450	

注１　大学入学共通テストの配点については、上記表の通りとし、「外国語」は 200 点満点、「数学」は各科目 100 点満点、「情報」は 50 点満点とする。

注２　大学入学共通テストの「外国語」の「英語」はリスニングを含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング 20%とする（リーディング 160 点、リスニング 40 点）。ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング 100%として算出する。

２　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

下記の６教科７科目を合否判定に用います。

教　科	科　　目
国語	「国語」
地理歴史 公民	「地理総合／歴史総合／公共」（この中から２出題範囲選択）「歴史総合，世界史探究」「歴史総合，日本史探究」「地理総合，地理探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」から１科目選択　＊1
数学	「数学Ⅰ，数学A」
	「数学Ⅱ，数学B，数学C」
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」（この中から２出題範囲選択）「物理」「化学」「生物」「地学」から１科目選択　＊1
外国語	「英語」
情報	「情報Ⅰ」

＊1　２科目を受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に用いる。

３　教科・科目に係る個別テスト等

(1) 実施期日及び時間等

期　　日	時　　間	教 科 等
２月25日（木）	９：30～11：30（120分）	外国語
２月26日（金）	９：30～11：00（ 90分）	小論文
	12:30に所定の場所に集合し、その後順次面接を行います。面接が終了した時点で解散となります。	面　接

(2) 教科・科目等

教 科 等	科　　目　　等
外 国 語	英語（「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」）
小 論 文	提示された日本文の資料に基づいた設問があり、それらへの考えを論述してもらいます。主に人間や社会における事象についての題材を提示し、それに関する設問に答える力（題材の理解力、立論能力、記述力などを含む）や、思考の広がりとその柔軟性を評価します。
面　　接	６名前後のグループ単位で面接を行います。面接開始15分前に前室に移動し、そこで語句や単文が討論テーマとして提示されます。テーマは必ずしも医療・看護に関したものとは限りません。面接室では複数の面接員と向かい合って着席します。１グループの面接時間は25分間です。最初にテーマについて自分の意見を一人ずつ１～２分間で述べてもらいます。一巡した後､残り時間はテーマについて自由に討論してください。面接員から問いかけをすることもあります。 この面接では、次のような項目が均等に評価されます。 (1) 言語表現能力：明瞭な言語表現ができる (2) 発言内容：自分自身で考えた内容が発言に含まれている (3) 討論への積極性：与えられたテーマに意欲的・積極的に取り組む (4) 態度：落ち着いた態度で討論に参加することができる (5) 調和性：他人に対して好ましい方向性をもっている

４　その他

保健師養成は名古屋校・蒲郡校あわせて 30 名以内（各学年）の選択制です。

医学部保健医療学科リハビリテーション学専攻

１　選抜方法

(1) ２段階選抜は行いません。

教科・科目に係る個別テストを課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

(2) 大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストの配点は次のとおりです。

教科／試験	国　語	地　理 歴　史	公　民	数　学	理　科	外国語	情　報	計	合　計
大学入学共通テスト	200	100		200	100	200	50	850	1,250
教科・科目に係る個別テスト	—	—	—	200	—	200	—	400	

注１　大学入学共通テストの配点については、上記表の通りとし、「外国語」は 200 点満点、「数学」は各科目 100 点満点、「情報」は 50 点満点とする。

注２　大学入学共通テストの「外国語」の「英語」はリスニングを含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング 20%とする（リーディング 160 点、リスニング 40 点）。ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング 100%として算出する。

２　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

下記の６教科７科目を合否判定に用います。

教　科	科　　目
国語	「国語」
地理歴史	「地理総合／歴史総合／公共」（この中から２出題範囲選択）「歴史総合，世界史探究」「歴史総合，日本史探究」「地理総合，地理探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」から１科目選択　＊1
公民	
数学	「数学Ⅰ，数学Ａ」
	「数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ」
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」（地学基礎を除く３つの出題範囲から２出題範囲選択）「物理」「化学」「生物」から１科目選択　＊1
外国語	「英語」
情報	「情報Ⅰ」

＊1　２科目を受験した場合は、第１解答科目を合否判定に用いる。

３　教科・科目に係る個別テスト

(1) 実施期日及び時間

期　　日	時　　間	教 科
２月25日（木）	９：30～11：30　（120分）	外 国 語
	13：00～15：00　（120分）	数　　学

(2) 教科・科目

教　　科	科　　目
外 国 語	英語（「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」）
数　　学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C　＊1

＊1　数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Aは全範囲を出題範囲とし、数学Bは「数列」、数学Cは　「ベクトル」を出題範囲とする。

経　済　学　部

1　選抜方法

(1) ２段階選抜は行いません。

教科・科目に係る個別テストを課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

(2) 大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストの配点は次のとおりです。

教科／試験	国　語	地　理 歴　史	公　民	理　科	情　報	数　学	外国語	計	合　計
大学入学共通テスト	100	100				100	100	400	800
教科・科目に係る個別テスト	—	—	—	—	—	200	200	400	

注１　大学入学共通テストの配点については、上記表の通りとし、「国語」及び「外国語」は各科目 100 点満点、「数学」は各科目 50 点満点とする。

注２　大学入学共通テストの「外国語」の「英語」はリスニングを含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング 20%とする（リーディング 80 点、リスニング 20 点）。ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング 100%として算出する。

2　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

下記の４教科５科目を合否判定に用います。

教　科	科　　目
国語	「国語」
地理歴史 公民	❶「地理総合／歴史総合／公共」（この中から２出題範囲選択）「歴史総合，世界史探究」「歴史総合，日本史探究」「地理総合，地理探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」から選択
理科	❷「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」（この中から２出題範囲選択）「物理」「化学」「生物」「地学」から選択
情報	❸「情報Ⅰ」
数学	「数学Ⅰ，数学Ａ」 「数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ」
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から１科目選択

※　「❶の第１解答科目」「❷の第１解答科目」「❸」のうち、最も得点の高い１つを合否判定に用いる。ただし、❶❷において１科目のみ受験した場合の当該科目についても、ここでいう第１解答科目に含める。

３　教科・科目に係る個別テスト

(1) 実施期日及び時間

期　　日	時　　間	教　　科
２月25日（木）	９：30～11：30　（120分）	外 国 語
	13：00～15：00　（120分）	数　　学

(2) 教科・科目

教　　科	科　　目
外 国 語	英語（「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」）
数　　学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C　＊1

＊1　数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Aは全範囲を出題範囲とし、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」を出題範囲とする。

人 文 社 会 学 部

※ 受験する学科・コースを選択する際に、12ページに掲載している「人文社会学部からのお知らせ」を必ずご覧ください。

1　選抜方法

(1) 心理教育学科　教育学コース

２段階選抜は行いません。

教科・科目に係る個別テストを課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストの配点は次のとおりです。

教科／試験	国　語	地　理 歴　史	公　民	理　科	数　学	外国語	情　報	計	合　計
大学入学共通テスト	100	160			50	100	40	450	850
教科・科目に係る個別テスト	200	—	—	—	—	200	—	400	

注１　大学入学共通テストの配点については、上記表の通りとし、「国語」及び「外国語」は各科目 100 点満点、「地理歴史，公民」及び「理科」は各科目 80 点満点、「数学」は 50 点満点、「情報」は 40 点満点とする。

注２　大学入学共通テストの「外国語」の「英語」はリスニングを含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング 20%とする（リーディング 80 点、リスニング 20 点）。ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング 100%として算出する。

(2) 心理教育学科　心理学コース

２段階選抜は行いません。

教科・科目に係る個別テストを課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストの配点は次のとおりです。

教科／試験	国　語	地　理 歴　史	公　民	理　科	数　学	外国語	情　報	計	合　計
大学入学共通テスト	100	160			100	100	40	500	900
教科・科目に係る個別テスト	200	—	—	—	—	200	—	400	

注１　大学入学共通テストの配点については、上記表の通りとし、「国語」及び「外国語」は各科目 100 点満点、「地理歴史，公民」及び「理科」は各科目 80 点満点、「数学」は各科目 50 点満点、「情報」は 40 点満点とする。

注２　大学入学共通テストの「外国語」の「英語」はリスニングを含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング 20%とする（リーディング 80 点、リスニング 20 点）。ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング 100%として算出する。

(3) 現代社会学科

２段階選抜は行いません。

教科・科目に係る個別テストを課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストの配点は次のとおりです。

教科／試験	国　語	地　理 歴　史	公　民	理　科	情　報	数　学	外国語	計	合　計
大学入学共通テスト	100	200				100	100	500	900
教科・科目に係る個別テスト	200	—	—	—	—	—	200	400	

注１　大学入学共通テストの配点については、上記表の通りとし、「国語」、「地理歴史，公民」、「理科」、「情報」及び「外国語」は各科目 100 点満点とする。

注２　大学入学共通テストの「外国語」の「英語」はリスニングを含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング 20%とする（リーディング 80 点、リスニング 20 点）。ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング 100%として算出する。

(4) 国際文化学科

２段階選抜は行いません。

教科・科目に係る個別テストを課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストの配点は次のとおりです。

教科／試験	国　語	地　理 歴　史	公　民	理　科	数　学	外国語	情　報	計	合　計
大学入学共通テスト	100	200			100	100	50	550	1,050
教科・科目に係る個別テスト	250	—	—	—	—	250	—	500	

注１　大学入学共通テストの配点については、上記表の通りとし、「国語」、「地理歴史，公民」、「理科」及び「外国語」は各科目 100 点満点、「情報」は 50 点満点とする。

注２　大学入学共通テストの「外国語」の「英語」はリスニングを含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング 20%とする（リーディング 80 点、リスニング 20 点）。ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング 100%として算出する。

２　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

(1) 心理教育学科　教育学コース

下記の５教科６科目または６教科６科目を合否判定に用います。

教　科	科　　目
国語	「国語」
地理歴史	❶「地理総合／歴史総合／公共」（この中から２出題範囲選択）「歴史総合，世界史探究」「歴史総合，日本史探究」「地理総合，地理探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」から選択
公民	
理科	❷「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」（この中から２出題範囲選択）「物理」「化学」「生物」「地学」から選択
数学	「数学Ⅰ，数学A」
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から１科目選択
情報	「情報Ⅰ」

※　「❶から２科目」「❶の第１解答科目と❷の第１解答科目」のうち、合計得点の高い組み合わせを合否判定に用いる。ただし、❶❷において１科目のみ受験した場合の当該科目についても、ここでいう第１解答科目に含める。

(2) 心理教育学科　心理学コース

下記の５教科７科目または６教科７科目を合否判定に用います。

教　科	科　　目
国語	「国語」
地理歴史	❶「地理総合／歴史総合／公共」（この中から２出題範囲選択）「歴史総合，世界史探究」「歴史総合，日本史探究」「地理総合，地理探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」から選択
公民	
理科	❷「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」（この中から２出題範囲選択）「物理」「化学」「生物」「地学」から選択
数学	「数学Ⅰ，数学A」
	「数学Ⅱ，数学B，数学C」
外国語	「英語」
情報	「情報Ⅰ」

※　「❶から２科目」「❶の第１解答科目と❷の第１解答科目」のうち、合計得点の高い組み合わせを合否判定に用いる。ただし、❶❷において１科目のみ受験した場合の当該科目についても、ここでいう第１解答科目に含める。

(3) 現代社会学科

下記の４教科５科目または５教科５科目を合否判定に用います。

教　科	科　　目
国語	「国語」
地理歴史	❶「歴史総合，世界史探究」「歴史総合，日本史探究」「地理総合，地理探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」から選択
公民	
理科	❷「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」（この中から２出題範囲選択）「物理」「化学」「生物」「地学」から選択
情報	❸「情報Ⅰ」
数学	「数学Ⅰ，数学A」
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から１科目選択

※　「❶から２科目」「❶の第１解答科目と❷の第１解答科目」「❶の第１解答科目と❸」のうち、最も合計得点の高い組み合わせを合否判定に用いる。ただし、❶❷において１科目のみ受験した場合の当該科目についても、ここでいう第１解答科目に含める。

(3) 国際文化学科

下記の５教科６科目または６教科６科目を合否判定に用います。

教　科	科　　目
国語	「国語」
地理歴史	❶「歴史総合，世界史探究」「歴史総合，日本史探究」「地理総合，地理探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」から選択
公民	
理科	❷「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」（この中から２出題範囲選択）「物理」「化学」「生物」「地学」から選択
数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ，数学A」から１科目選択
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から１科目選択
情報	「情報Ⅰ」

※　「❶から２科目」「❶の第１解答科目と❷の第１解答科目」のうち、合計得点の高い組み合わせを合否判定に用いる。ただし、❶❷において１科目のみ受験した場合の当該科目についても、ここでいう第１解答科目に含める。

３　教科・科目に係る個別テスト

(1) 実施期日及び時間

期　　日	時　　間	教　科
２月25日（木）	９：30～11：30（120 分）	外 国 語
	13：00～14：30（ 90 分）	国　　語

(2) 教科・科目

教　科	科　　目
外 国 語	英語（「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」）
国　　語	「現代の国語」「言語文化」「論理国語」「文学国語」「古典探究」

芸 術 工 学 部

1　選抜方法

(1) ２段階選抜は行いません。

教科・科目に係る個別テスト及び実技検査を課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

(2) 大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テスト等の配点は次のとおりです。

教科等 / 試験	国　語	地　理 歴　史	公　民	理　科	数　学	外国語	情　報	実　技	計	合　計
大学入学共通テスト	100	150			100	100	50	—	500	1,250
教科・科目に係る個別テスト等	—	—	—	—	300	300	—	150	750	

注1　大学入学共通テストの配点については、上記表の通りとし、「国語」及び「外国語」は各科目100点満点、「地理歴史，公民」、「理科」、「数学」及び「情報」は各科目50点満点とする。

注2　大学入学共通テストの「外国語」の「英語」はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする（リーディング80点、リスニング20点）。ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング100%として算出する。

2　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

下記の６教科８科目又は７教科８科目を合否判定に用います。

教　科	科　　目	
国語	「国語」	
地理歴史	❶「地理総合／歴史総合／公共」（この中から２出題範囲選択）「歴史総合，世界史探究」「歴史総合，日本史探究」「地理総合，地理探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」から選択　＊1＊2	以下のア、イのうちいずれか合計得点の高い方の組み合わせを合否判定に用いる。　＊3 ア「❶の第１解答科目、❷から２科目」 イ「❶から２科目、❷の第１解答科目」
公民		
理科	❷「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」（この中から２出題範囲選択）「物理」「化学」「生物」「地学」から選択	
数学	「数学Ⅰ，数学A」	
	「数学Ⅱ，数学B，数学C」	
外国語	「英語」	
情報	「情報Ⅰ」	

＊1　❶において、「地理総合／歴史総合／公共」を選択する場合、同一名称を含む科目の組合せで選択することはできない。

＊2　❶において、「公共，倫理」と「公共，政治・経済」の組合せで選択することはできない。

＊3　❷において、同一名称を含む科目の組合せを本学では認めない。よって、❷において同一名称を含む科目の組合せで解答した場合は、アを選択することができないため、イを合否判定に用いる。科目選択には十分注意すること。なお、❶と❷において1科目のみ受験した場合の当該科目についても、ここでいう第1解答科目に含める。

３　教科・科目に係る個別テスト等

⑴ 実施期日及び時間

期　　日	時　　間	教 科 等
２月25日（木）	9:30 ～ 11:30（120分）	外 国 語
	13:00 ～ 15:00（120分）	数　　学
	15:50 ～ 17:50（120分）	実　　技

⑵ 教科・科目等

教 科 等	教科・科目・評価のポイント
外 国 語	英語（「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」）
数　　学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C　＊1
実　　技	描写力（対象を正確にとらえ正確に表す力）を中心に評価します。

＊1　数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Aは全範囲を出題範囲とし、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」を出題範囲とする。

⑶ 実技検査のため、受験者は試験当日に次の物品を持参してください。なお、括弧内に示す以外の規格・品質・個数は問いません。

ア　鉛筆（4H～6B程度のもの各種）
イ　カッターナイフ、小刀、又は鉛筆削り器（ただし電動及び手動ハンドル回転式は不可）
ウ　練り消しゴム
エ　プラスチック消しゴム
※実技試験の描写においてティッシュペーパー類の使用は不可。

⑷ 実技検査過去問題について

芸術工学部では、過去の実技試験の問題等をウェブサイト上で掲載しています。
https://www.nagoya-cu.ac.jp/sda/examination/

理 学 部

1　選抜方法

(1) ２段階選抜は行いません。

教科・科目に係る個別テストを課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

(2) 大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストの配点は次のとおりです。

教科／試験	国　語	地　理 歴　史	公　民	数　学	理　科	外国語	情　報	計	合　計
大学入学共通テスト	100	50		100	100	200	50	600	1,000
教科・科目に係る個別テスト	—	—	—	200	200	—	—	400	

注１　大学入学共通テストの得点は上記表の通りとし、「外国語」は 200 点満点、「国語」は 100 点満点、「地理歴史，公民」、「数学」、「理科」及び「情報」は各科目 50 点満点とする。

注２　大学入学共通テストの「外国語」の「英語」はリスニングを含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング 20%とする（リーディング 160 点、リスニング 40 点）。ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング 100%として算出する。

2　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

下記の６教科８科目を合否判定に用います。

教　科	科　　目
国語	「国語」
地理歴史	「地理総合／歴史総合／公共」（この中から２出題範囲選択）「歴史総合，世界史探究」「歴史総合，日本史探究」「地理総合，地理探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」から１科目選択　＊1
公民	
数学	「数学Ⅰ，数学A」
	「数学Ⅱ，数学B，数学C」
理科	「物理」「化学」「生物」「地学」から２科目選択
外国語	「英語」
情報	「情報Ⅰ」

＊1　２科目を受験した場合は、第１解答科目を合否判定に用いる。

3　教科・科目に係る個別テスト

(1) 実施期日及び時間等

期　　日	時　　間	教 科
２月25日（木）	13：00～15：00　（120分）	数　　学
	15：50～17：50　（120分）	理　　科

※他学部と試験開始時間が異なるため、注意してください。

(2) 教科・科目

教　　科	科　　目
数　　学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ　＊1
理　　科	「物理基礎・物理」（４問）、「化学基礎・化学」（４問）、 「生物基礎・生物」（４問）から１科目を選択　＊2

＊1　数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａは全範囲を出題範囲とし、数学Ｂは「数列」、数学Ｃは「平面上の曲線と複素数平面」「ベクトル」を出題範囲とする。

＊2　「物理基礎・物理」は「物理基礎」・「物理」の、「化学基礎・化学」は「化学基礎」・「化学」の、「生物基礎・生物」は「生物基礎」・「生物」の全範囲を出題範囲とする。

データサイエンス学部

1　選抜方法

(1) ２段階選抜は行いません。

教科・科目に係る個別テストを課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

(2) 大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストの配点は次のとおりです。

教科／試験	国　語	地　理 歴　史	公　民	数　学	理　科	外国語	情　報	計	合　計
大学入学共通テスト	200	100		200	100	200	50	850	1,450
教科・科目に係る個別テスト	—	—	—	400	—	200	—	600	

注１　大学入学共通テストの配点については、上記表の通りとし、「外国語」は 200 点満点、「数学」は各科目 100 点満点、「情報」は 50 点満点とする。

注２　大学入学共通テストの「外国語」の「英語」はリスニングを含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング 20%とする（リーディング 160 点、リスニング 40 点）。ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング 100%として算出する。

2　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

下記の６教科７科目を合否判定に用います。

教　科	科　　目
国語	「国語」
地理歴史	「地理総合／歴史総合／公共」（この中から２出題範囲選択）「歴史総合，世界史探究」「歴史総合，日本史探究」「地理総合，地理探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」から１科目選択　＊1
公民	
数学	「数学Ⅰ，数学A」
	「数学Ⅱ，数学B，数学C」
理科	「物理」「化学」「生物」「地学」から１科目選択　＊1
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から１科目選択
情報	「情報Ⅰ」

＊1　２科目を受験した場合は、第１解答科目を合否判定に用いる。

3　教科・科目に係る個別テスト

(1) 実施期日及び時間等

期　　日	時　　間	教 科
２月25日（木）	９：30～11：30　（120分）	外国語
	13：00～15：00　（120分）	数　学

(2) 教科・科目

教　　科	科　　目
外 国 語	英語（「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」）
数　　学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ　＊1

＊1　数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａは全範囲を出題範囲とし、数学Ｂは「数列」、数学Ｃは「平面上の曲線と複素数平面」「ベクトル」を出題範囲とする。なお、数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ(「ベクトル」のみ)の範囲からだけでも解答できることとする。

後　期　日　程

経済学部　----------　46ページ

人文社会学部　----------　48ページ

芸術工学部　----------　52ページ

理学部　----------　54ページ

経　済　学　部

1　選抜方法

(1) ２段階選抜は行いません。

Ｅコース（英語選択）とＭコース（数学選択）に分けてそれぞれ別個に教科・科目に係る個別テストを課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。ただし、教科・科目に係る個別テスト受験者のうち、大学入学共通テストの成績が上位20位以内となる者は、教科・科目に係る個別テストの結果にかかわらず、大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者とします。

(2) 大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストの配点は次のとおりです。

試験＼教科		国　語	地　理 歴　史	公　民	理　科	情　報	数　学	外国語	計	合　計
大学入学共通テスト		100	100				100	100	400	800
教科・科目に係る個別テスト	Eコース	—	—	—	—	—	—	400	400	
	Mコース	—	—	—	—	—	400	—	400	

注１　大学入学共通テストの配点については、上記表の通りとし、「国語」及び「外国語」は各科目 100 点満点、「数学」は各科目 50 点満点とする。

注２　大学入学共通テストの「外国語」の「英語」はリスニングを含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング　20%とする（リーディング 80 点、リスニング 20 点）。ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング 100%として算出する。

2　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

下記の４教科５科目を合否判定に用います。

教　科	科　　目
国語	「国語」
地理歴史	❶「地理総合／歴史総合／公共」（この中から２出題範囲選択）「歴史総合，世界史探究」「歴史総合，日本史探究」「地理総合，地理探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」から選択
公民	
理科	❷「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」（この中から２出題範囲選択）「物理」「化学」「生物」「地学」から選択
情報	❸「情報Ⅰ」
数学	「数学Ⅰ，数学Ａ」
	「数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ」
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から１科目選択

※　「❶の第１解答科目」「❷の第１解答科目」「❸」のうち、最も得点の高い１つを合否判定に用いる。ただし、❶❷において１科目のみ受験した場合の当該科目についても、ここでいう第１解答科目に含める。

３　教科・科目に係る個別テスト

(1) 実施期日及び時間

期　　日	コース	時　　間
３月12日（金）	Ｍコース （数学選択）	９：30～11：30　（120分）
	Ｅコース （英語選択）	13：00～15：00　（120分）

(2) 教科・科目

コース	教　　科	科　　目
Ｍコース （数学選択）	数　　学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ　＊1
Ｅコース （英語選択）	外 国 語	英語（「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」）

＊1　数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ａは全範囲を出題範囲とし、数学Ｂは「数列」、数学Ｃは「ベクトル」を出題範囲とする。

人 文 社 会 学 部

※ 受験する学科・コースを選択する際に、12ページに掲載している「人文社会学部からのお知らせ」を必ずご覧ください。

1　選抜方法

(1) 心理教育学科　教育学コース

２段階選抜は行いません。

小論文を課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テスト等の配点は次のとおりです。

教科等 / 試験	国　語	地　理 歴　史	公　民	理　科	数　学	外国語	情　報	小論文	計	合　計
大学入学共通テスト	100	160			50	100	40	—	450	650
教科・科目に係る個別テスト等	—	—	—	—	—	—	—	200	200	

注１　大学入学共通テストの配点については、上記表の通りとし、「国語」及び「外国語」は各科目 100 点満点、「地理歴史，公民」及び「理科」は各科目 80 点満点、「数学」は 50 点満点、「情報」は 40 点満点とする。

注２　大学入学共通テストの「外国語」の「英語」はリスニングを含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング 20%とする（リーディング 80 点、リスニング 20 点）。ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング 100%として算出する。

(2) 心理教育学科　心理学コース

２段階選抜は行いません。

小論文を課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストの配点は次のとおりです。

教科等 / 試験	国　語	地　理 歴　史	公　民	理　科	数　学	外国語	情　報	小論文	計	合　計
大学入学共通テスト	100	160			100	100	40	—	500	700
教科・科目に係る個別テスト等	—	—	—	—	—	—	—	200	200	

注１　大学入学共通テストの配点については、上記表の通りとし、「国語」及び「外国語」は各科目 100 点満点、「地理歴史，公民」及び「理科」は各科目 80 点満点、「数学」は各科目 50 点満点、「情報」は 40 点満点とする。

注２　大学入学共通テストの「外国語」の「英語」はリスニングを含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング 20%とする（リーディング 80 点、リスニング 20 点）。ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング 100%として算出する。

(3) 現代社会学科

２段階選抜は行いません。

小論文を課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テスト等の配点は次のとおりです。

教科等／試験	国語	地理歴史	公民	理科	情報	数学	外国語	小論文	計	合計
大学入学共通テスト	100	200				100	100	—	500	700
教科・科目に係る個別テスト等	—	—	—	—	—	—	—	200	200	

注 1　大学入学共通テストの配点については、上記表の通りとし、「国語」、「地理歴史，公民」、「理科」、「情報」及び「外国語」は各科目 100 点満点とする。

注 2　大学入学共通テストの「外国語」の「英語」はリスニングを含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング 20%とする（リーディング 80 点、リスニング 20 点）。ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング 100%として算出する。

(4) 国際文化学科

２段階選抜は行いません。

小論文を課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テスト等の配点は次のとおりです。

教科等／試験	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	小論文	計	合計
大学入学共通テスト	100	200			100	100	50	—	550	800
教科・科目に係る個別テスト等	—	—	—	—	—	—	—	250	250	

注1　大学入学共通テストの配点については、上記表の通りとし、「国語」、「地理歴史，公民」、「理科」及び「外国語」は各科目100点満点、「情報」は50点満点とする。

注2　大学入学共通テストの「外国語」の「英語」はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする（リーディング80点、リスニング20点）。ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング100%として算出する。

２　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

(1) 心理教育学科　教育学コース

下記の５教科６科目または６教科６科目を合否判定に用います。

教　科	科　　目
国語	「国語」
地理歴史	❶「地理総合／歴史総合／公共」（この中から２出題範囲選択）「歴史総合，世界史探究」「歴史総合，日本史探究」「地理総合，地理探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」から選択
公民	
理科	❷「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」（この中から２出題範囲選択）「物理」「化学」「生物」「地学」から選択
数学	「数学Ⅰ，数学Ａ」
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から１科目選択
情報	「情報Ⅰ」

※　「❶から２科目」「❶の第１解答科目と❷の第１解答科目」のうち、合計得点の高い組み合わせを合否判定に用いる。ただし、❶❷において１科目のみ受験した場合の当該科目についても、ここでいう第１解答科目に含める。

(2) 心理教育学科　心理学コース

下記の５教科７科目または６教科７科目を合否判定に用います。

教　科	科　　目
国語	「国語」
地理歴史	❶「地理総合／歴史総合／公共」（この中から２出題範囲選択）「歴史総合，世界史探究」「歴史総合，日本史探究」「地理総合，地理探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」から選択
公民	
理科	❷「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」（この中から２出題範囲選択）「物理」「化学」「生物」「地学」から選択
数学	「数学Ⅰ，数学Ａ」
	「数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ」
外国語	「英語」
情報	「情報Ⅰ」

※　「❶から２科目」「❶の第１解答科目と❷の第１解答科目」のうち、合計得点の高い組み合わせを合否判定に用いる。ただし、❶❷において１科目のみ受験した場合の当該科目についても、ここでいう第１解答科目に含める。

(3) 現代社会学科

下記の４教科５科目または５教科５科目を合否判定に用います。

教　科	科　　目
国語	「国語」
地理歴史	❶「歴史総合，世界史探究」「歴史総合，日本史探究」「地理総合，地理探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」から選択
公民	
理科	❷「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」（この中から２出題範囲選択）「物理」「化学」「生物」「地学」から選択
情報	❸「情報Ⅰ」
数学	「数学Ⅰ，数学Ａ」
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から１科目選択

※　「❶から２科目」「❶の第１解答科目と❷の第１解答科目」「❶の第１解答科目と❸」のうち、最も合計得点の高い組み合わせを合否判定に用いる。ただし、❶❷において１科目のみ受験した場合の当該科目についても、ここでい　う第１解答科目に含める。

(4) 国際文化学科

下記の５教科６科目または６教科６科目を合否判定に用います。

教　科	科　　目
国語	「国語」
地理歴史	❶「歴史総合，世界史探究」「歴史総合，日本史探究」「地理総合，地理探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」から選択
公民	
理科	❷「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」（この中から２出題範囲選択）「物理」「化学」「生物」「地学」から選択
数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ，数学A」から１科目選択
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から１科目選択
情報	「情報Ⅰ」

※　「❶から２科目」「❶の第１解答科目と❷の第１解答科目」のうち、合計得点の高い組み合わせを合否判定に用いる。ただし、❶❷において１科目のみ受験した場合の当該科目についても、ここでいう第１解答科目に含める。

３　教科・科目に係る個別テスト等

(1) 実施期日及び時間

期　　日	時　　間	教 科 等
３月12日（金）	９：30～11：30　（120分）	小 論 文

(2) 教科・科目等

教 科 等	科　　目　　等
小 論 文	資料を読み課題に答えたもの、又は、与えられた論題について見解を述べたものを、総合的に評価します。 なお、国際文化学科では英文資料を用います。

芸 術 工 学 部

1　選抜方法

(1) ２段階選抜は行いません。

小論文又は実技検査のいずれかを課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

(2) 大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テスト等の配点は次のとおりです。

教科等 / 試験	国　語	数　学	外国語	情　報	小論文	実　技	計	合　計
大学入学共通テスト	100	100	100	50	—	—	350	850
教科・科目に係る個別テスト等	—	—	—	—	500		500	

注１　大学入学共通テストの配点については、上記表の通りとし、「国語」及び「外国語」は各科目 100 点満点、「数学」及び「情報」は各科目 50 点満点とする。

注２　大学入学共通テストの「外国語」の「英語」はリスニングを含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング 20%とする（リーディング 80 点、 リスニング 20 点）。ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング 100%として算出する。

注３　教科・科目に係る個別テスト等については、実技又は小論文のいずれかを出願時に選択する。

2　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

下記の４教科５科目を合否判定に用います。

教　科	科　　目
国語	「国語」
数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ，数学A」から１科目選択
	「数学Ⅱ，数学B，数学C」
外国語	「英語」
情報	「情報Ⅰ」

3　教科・科目に係る個別テスト等

(1) 実施期日及び時間

期　　日	コース	時　　間	教 科 等
３月12日（金）	小論文コース（小論文選択）	９：30～11：30　（120分）	小論文
	実　技コース（実技選択）	９：30～11：30　（120分） 13：00～16：00　（180分）	実技① 実技②

※　小論文または実技のいずれかを選択すること。

※　実技を選択した場合、午前（実技①）・午後（実技②）ともに必ず受験すること。両時間を受験しない場合は不合格とする。

(2) 教科・科目等

教 科 等	教科・科目・評価のポイント
小 論 文	芸術工学に関する題材と設問を提示します。題材への理解力、設問に答える力（論理構成力や表現力等）を総合的に評価します。
実　　技	描写力（対象を正確にとらえ正確に表す力）、想像力や表現力（想定したものを的確に表し伝える力）等を評価します。

(3) 実技検査のため、受験者は試験当日に次の物品を持参してください。なお、括弧内に示す以外の規格・品質・個数は問いません。

ア　鉛筆（4H～6B程度のもの各種）
イ　カッターナイフ、小刀、又は鉛筆削り器（ただし電動及び手動ハンドル回転式は不可）
ウ　練り消しゴム
エ　プラスチック消しゴム
※実技試験の描写においてティッシュペーパー類の使用は不可。

(4) 実技検査過去問題について

芸術工学部では、過去の実技試験の問題等をウェブサイト上で掲載しています。
https://www.nagoya-cu.ac.jp/sda/examination/

理 学 部

1　選抜方法

(1) ２段階選抜は行いません。

教科・科目に係る個別テストを課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

(2) 大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストの配点は次のとおりです。

教科／試験	国　語	地　理 歴　史	公　民	数　学	理　科	外国語	情　報	計	合　計
大学入学共通テスト	100	50		100	200	200	50	700	1,150
教科・科目に係る個別テスト	—	—	—	300	150	—	—	450	

注１　大学入学共通テストの得点は上記表の通りとし、「外国語」は 200 点満点、「国語」及び「理科」は各科目 100 点満点、「地理歴史，公民」、「数学」及び「情報」は各科目 50 点満点とする。

注２　大学入学共通テストの「外国語」の「英語」はリスニングを含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング 20%とする（リーディング 160 点、リスニング 40 点）。ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング 100%として算出する。

2　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

下記の６教科８科目を合否判定に用います。

教　科	科　　目
国語	「国語」
地理歴史	「地理総合／歴史総合／公共」（この中から２出題範囲選択）「歴史総合，世界史探究」「歴史総合，日本史探究」「地理総合，地理探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」から１科目選択　＊1
公民	
数学	「数学Ⅰ，数学A」
	「数学Ⅱ，数学B，数学C」
理科	「物理」「化学」「生物」「地学」から２科目選択
外国語	「英語」
情報	「情報Ⅰ」

＊1　２科目を受験した場合は、第１解答科目を合否判定に用いる。

3　教科・科目に係る個別テスト

(1) 実施期日及び時間等

期　　日	時　　間	教 科 等
3月12日（金）	9：30～11：30　（120分）	数　　学
	13：00～14：00　（ 60分）	理　　科

(2) 教科・科目

教　　科	科　　目
数　　学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C　＊1
理　　科	「物理基礎・物理」（２問）、「化学基礎・化学」（２問）、 「生物基礎・生物」（２問）から１科目を選択　＊2

＊1　数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Aは全範囲を出題範囲とし、数学Bは「数列」、数学Cは「平面上の曲線と複素数平面」「ベクトル」を出題範囲とする。

＊2　「物理基礎・物理」は「物理基礎」・「物理」の、「化学基礎・化学」は「化学基礎」・「化学」の、「生物基礎・生物」は「生物基礎」・「生物」の全範囲を出題範囲とする。

公立大学中期日程

薬学部　----------　57ページ

薬　学　部

1　選抜方法

(1) ２段階選抜は行いません。

教科・科目に係る個別テストを課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定します。

(2) 大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストの配点は次のとおりです。

教科／試験	国　語	地　理 歴　史	公　民	数　学	理　科	外国語	情　報	計	合　計
大学入学共通テスト	100	100		100	100	100	25	525	1,125
教科・科目に係る個別テスト	―	―	―	200	200	200	―	600	

注１　大学入学共通テストの配点については、上記表の通りとし、「国語」及び「外国語」は各科目 100 点満点、「数学」及び「理科」は各科目 50 点満点、「情報」は 25 点満点とする。

注２　大学入学共通テストの「外国語」の「英語」はリスニングを含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング 20%とする（リーディング 80 点、リスニング 20 点）。ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング 100%として算出する。

2　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

下記の６教科８科目を合否判定に用います。

教　科	科　　目
国語	「国語」
地理歴史	「地理総合／歴史総合／公共」（この中から２出題範囲選択）「歴史総合，世界史探究」「歴史総合，日本史探究」「地理総合，地理探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」から１科目選択 ＊1
公民	
数学	「数学Ⅰ，数学Ａ」
	「数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ」
理科	「物理」「化学」「生物」「地学」から２科目選択
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から１科目選択
情報	「情報Ⅰ」

＊1　２科目を受験した場合は、第１解答科目を合否判定に用いる。

３　教科・科目に係る個別テスト

(1) 実施期日及び時間

期　　日	時　　間	教　　科
３月８日（月）	10：00～11：20　(80分)	外 国 語
	12：40～14：00　(80分)	数　　学
	15：00～16：20　(80分)	理　　科

(2) 教科・科目

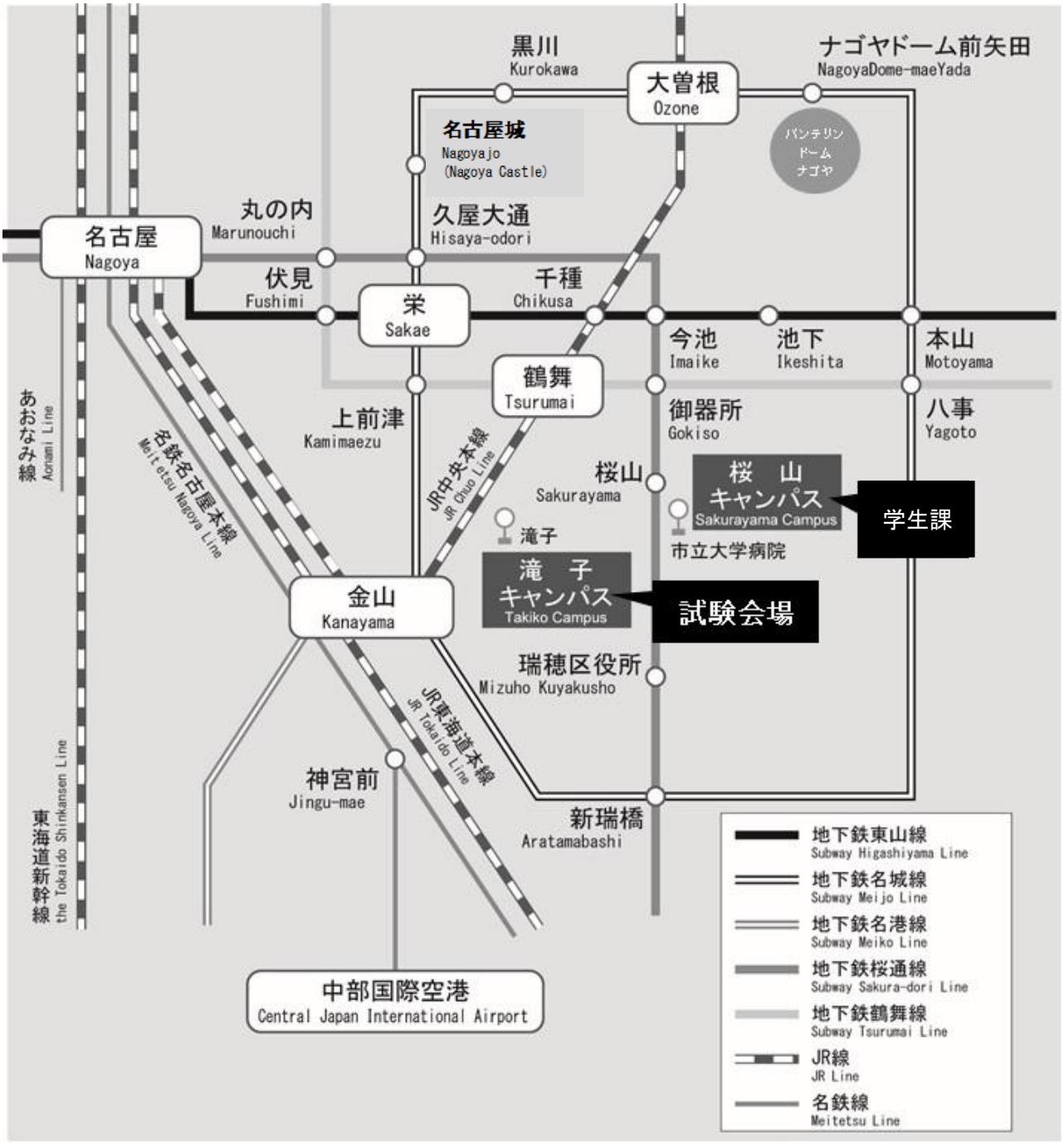
教　　科	科　　目
外 国 語	英語（「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」）
数　　学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C　＊1
理　　科	「化学基礎・化学」　＊2

＊1　数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Aは全範囲を出題範囲とし、数学Bは「数列」、数学Cは「平面上の曲線と複素数平面」「ベクトル」を出題範囲とする。

＊2　「化学基礎・化学」は「化学基礎」、「化学」の全範囲を出題範囲とする。

第16 試験場及び学生課案内

交通案内については参考として掲載しております。必ず直前にご自身で確認の上、利用してください。



敷地内全面禁煙について

本学は、敷地内禁煙を実施しており、学生の皆さんにもこの方針を遵守していただくとともに、大学周辺道路での禁煙にもご協力をいただいております。

20 歳未満の喫煙は法律で禁止されていますが、喫煙が健康に及ぼす悪影響に鑑み、皆さんが本学入学後、喫煙者とならないよう強く希望します。

【付近図】



地下鉄

路線名	下車駅	備　　考
桜通線	桜　山	滝子キャンパスへは５番出口から徒歩約10分

市バス

バス停	のりば	市バス経路			下車するバス停	備　　考
		系統	起点	行先		
金山バスターミナル	7番	金山11	金　山	池　　下	滝　子	・滝子通２丁目は一つ手前のバス停ですから注意してください ・バス所要時間はいずれも約15分 ・バス停「滝子」から滝子キャンパスまでは徒歩数分
		金山16		瑞穂運動場東		
		金山12		妙 見 町		
				桜山経由金山		
	8番	金山14		桜山経由 瑞穂運動場東		

出願状況速報

本学の出願状況速報について、次のように公表します。

◆ 公表方法

ウェブサイト　　https://www.nagoya-cu.ac.jp/

◆ 期間・内容

令和９年１月26日（火）　～　２月４日（木）（随時）

募集単位別の出願者数 及び 倍率

追加合格の実施状況

本学の追加合格の実施状況について、次のように公表します。

◆ 公表方法

ウェブサイト　　https://www.nagoya-cu.ac.jp/

◆ 期間・内容

令和９年３月28日（日）９：00　～

追加合格の実施の有無

＜注意＞
学生募集要項は名古屋市立大学ウェブサイトのみで公表し、紙媒体での配布は行っていません。

■連絡先　：名古屋市立大学 学生課
〒467-8601　名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1
TEL　：052-853-8020　　FAX：052-841-7428
E-mail：shingaku@adm.nagoya-cu.ac.jp